

Title	新収資料一覧
Sub Title	A list of early books newly housed in Shido bunko
Author	堀川, 貴司(Horikawa, Takashi)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	2017
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.52 (2017.) ,p.115- 198
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-20170000-0115

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

新収資料一覧

堀川 貴司 編

斯道文庫では、平成三〇年度に収蔵古典籍の目録をデータベース化し公開する予定で、現在その準備を進めている。ここ数年滯つていた新収資料の整理に着手したのもその一環である。同時に、相当以前から寄贈あるいは移管を受けながら未整理のまま放置されていたものの整理にも取りかかった。いすれはデータベースに組み込まれるものであるが、新たな資料のみを一覧できる形で紹介することも意味があろうと考え、ここに掲載する次第である。整理に際しては、過去・現在の文庫員の調査メモ等を踏まえ、編者の判断によつて記述した。大方のご批正を賜らば幸いである。記述事項は、書名、作成地（和漢韓洋）の別および判型、請求番号、編著者、成立年時、刊写の別および刊写者、特徴的な事項、蔵書印・書入等である。請求番号は三段から成る。上段が日本十進分類法新訂6—A版に基づき独自の改編を加えたもの、ただし、配架の都合上貴重書・特殊形態本に独自の番号を与えている。すなわち、091が貴重書、092が箱入り等特殊形態の貴重書、B1が準貴重書、B2が特殊形態の準貴重書、普通本のうち大型本はD1（おおよそB4判以上）、D6（おおよそA4判以上）、小型本がD2、巻子本等特殊形態本がD3である（なお例外的な措置として、川瀬

一馬旧蔵本には数字の後に「カ」を加えている)。中段が同一分類内での通し番号(古典籍の場合番号の前に「ト」を付す)、下段が頁数を表す。また、特殊文庫は一般蔵書と上段が異なり、椎本文庫は「09A」、平岡文庫は数字冒頭に「ヒ」をえたもの、戸原文庫は「戸原」となっている。いずれも追加整理分のみを記載したものである。

資料を御寄贈頂いた各位、特に国文学各分野にわたる貴重な御蔵書を頂戴した久保田淳氏に深謝申し上げる。

○ 総記

〔増補〕書籍目録(外)

闕名者編

〔延宝元年(一六七三)〕刊

和横(大本三つ切)

025
ト28
1

扉題「新板増補書籍目録(作者付太意)」。末尾四張補写、伊勢磨を張り込んだ紙帙入。

〔宋元版零葉集〕

闕名者編

〔宋元〕刊

唐特大

091
ト407
16

1. 〔周官講義〕四卷 宋史浩撰 存地官十四第一四・一五張、〔南宋〕刊(〔浙〕)、左右双边有界九行一八字、注低一格单行大字、白口单黑魚尾、刻工名:周彥、許中、闕筆:懲

2. 〔周禮一二卷〕漢鄭玄注 唐陸德明釋文 存卷七夏官上第一四張裏至第一七張、第二〇張裏、〔元〕刊(〔相台岳氏荊谿家塾〕)、四周双边有界八行一七字、注小字双行一七字、線黑口双内向黑魚尾、句点・圈発・耳格あり、刻工名:永言、□王(玉?)

3. 〔禮記〕一〇卷 漢鄭玄注 唐陸德明釋文 存卷〔九〕玉藻〔第一張裏、第二張〕、〔元〕刊(〔相台岳氏荊谿家塾〕)、

四周双边有界八行一七字、注小字双行、版心不明、句点・圈発・耳格あり

4. 孟子註疏解經〔三四卷 漢趙岐注 宋孫奭疏〕存卷十四下第一七張〔南宋〕刊〔兩浙東路茶鹽司〕、

左右双边有界八行〔一六字〕、注疏小字双行二二字、白口单黑魚尾、刻工名・許貴

5. 說文解字〔一五卷〕漢許〔愼〕撰 宋徐鉉等奉勅校定 存卷六上第一至四張、〔南宋〕刊〔浙〕、左右双

辺有界一〇行一二字前後、注小字双行三〇字前後、白口单黑魚尾、第三張裏第一・三行墨釘あり

6. 漢書〔一二〇卷 漢班固撰 唐顏師古注〕存卷三十一律曆志一上第九・一〇張、〔大德九年（二三〇五）〕刊〔太

平路儒學〕、四周双边有界一〇行三二字、注小字双行同字、線黑口三黑魚尾

二西洞

和半

一色時棟〔前田菊叢〕編 林九成校 元禄一二年（一六九九）一〇月刊（京・武村新兵衛、林九兵衛）

題簽欠（他本「唐本」類書目錄 乾（坤）とあり）、各冊表紙「珠」墨書貼紙。

〔江戸時代公家藏書目録〕

和（判型区々）

闕名者編〔江戸中後期〕写

書名はすべて外題による。8・9は家名不明。掲出順私意。印記・姉小路府（1のみ）

1. 姉小路家書籍目録

横中本一冊〔中期〕

2. 同（1より収録書多し）

同

3. 梅小路殿家書籍目録

横中本一冊〔後期〕

4. 久世家書目録

半一冊〔中期〕

092
ト138
10

027
ト11
2

5. 〔久世家〕文化七年雜書之目錄 半二冊（第1冊「和」、第2冊「和哥并」を書名冒頭に加筆）
6. 〔久世家〕文化十癸酉年改和漢書籍目六 半一冊
7. 〔久世家〕文政十二年改所持書籍目錄 半一冊
8. 御歌書目錄 大一冊〔後期〕
9. 享保十已年書籍往復之覺 橫大本一冊 享保一〇年至元文三年
- 仄韻（柱） 和中 031
和大 ト91
和中 ト91
- 闕名者編 宽永八年（一六三一）一〇月刊（〔京〕・中野氏市右衛門）
- 同年刊大和田意闇版とは異版。墨書識語「主智円」「木村家」、印記・式浦文庫
- 海藏略韻（外）三一卷 附爛葛藤
- 〔題识虎闇師鍊〕編
- 覆古活字版、上冊初張版、心題「署句」。
- 玉海（二〇四卷附刻十三種）存卷四十四 唐大 091
ト412
1
- 〔宋〕王應麟撰 〔至正二二年（一三五二）〕刊明通修（〔南京國子〕監） B1
ト178
2
- 補刻は嘉靖庚戌（二九年）同丙辰（三五年）萬曆丁亥（一五年）同一六年・一七年に及ぶ。原刻部分刻工名・徐、
齊、吳（？）。大西寛ペソ書メモ貼付、全裏打、印記・大西氏藏書
- 鼈頭韻學圓機活法八卷 和特小 D2
ト118
2
- 〔明王世貞原編〕、山崎昇編 明治一五年（一八八二）二月刊（大阪・辻本信太郎、尚書堂藏版）

銅版（大阪：響泉堂）、明治一四年六月版権免許、同一〇月別製本御届。各冊四卷、薄葉刷、原帙に「山佐」印あり。

山城屋佐兵衛扱いか。

羣書類從目録

和大

〔塙保己一〕編

〔江戸後期〕刊

いわゆる古版目録。〔小中村清矩〕書入、印記・陽春廬記（小中村清矩）

羣書類從五三〇卷目録一卷存卷百四十四・百四十五・四百・四百九十七上下

和大

〔塙〕保己一編

〔江戸後期〕刊

川瀬一馬旧蔵書入本。卷百四十四所収書札札に昭和一五年九月校合識語、百四十五に昭和一四年五月取得識語、四百に昭和三八年九月および四八年五月識語、四百九十七下に昭和一四年春取得識語および二九年秋識語あり。

印記・三袖書屋、一馬

又 欠卷百四十八下・卷三百六十四至五

和大

〔塙〕保己一編

〔江戸後期〕刊〔大正〕印（光榮記念版）

又 存卷二百七十四・四百八十八

和大

〔塙〕保己一編

〔江戸後期〕刊

印記・成化堂圖書記（卷四百八十八）

和大

續羣書類從目録二卷

〔塙〕保己一編

〔江戸後期〕刊

081
ト12
2

081
ト11
2

081
ト9
663

081
ト10
1

081
ト8
5

印記：東州文庫（小中村清矩）

〔正續〕國譯漢文大成稿本

和大

〔國民文庫刊行會〕編
〔大正〕写・刊

第一帙：四書解題、國譯論語、國譯孝經、國譯書經、老莊列子論纂（校正刷を含む）

第二・三帙：國譯史記世家

第四帙：國譯國語（卷十七途中まで）

第五・六帙：國譯楚辭、後語、附錄

第七・八帙：國譯文選

第九帙：國譯桃花扇傳奇

第一〇帙：晉唐小說解題、國譯唐代小說

第一帙：國譯長生殿（傳奇）

一二帙：國譯燕子箋

第一三・一四帙：國譯資治通鑑附原文（有欠、校正刷を含む、原文は鳳文館刊本を用いる）

第一五帙：陶淵明詩集

第一六帙：杜少陵詩集（有欠）

第一七帙：蘇東坡詩集

第一八帙：王守仁「大學問」「教條」（小龍場諸生）、孔子家語（いざれも未刊原稿）

第一九帙・國譯資治通鑑附図（印刷、未製本）

帙は斯道文庫にて譲えたもの。いずれも訳者自筆本かどうか不明。

〔西嶋蘭溪・睡菴筆漢籍抄出〕

和半

西嶋蘭溪・睡菴編

〔江戸後期〕写（西嶋蘭溪・睡菴他）

各書名は外題による。冊数・判型・装訂は、一冊・半紙本・四つ目綴以外のもののみ記す。掲出順私意。

1. 摂出録（續焦氏筆乘抄出）中本、印記・孜々齋記、西島蘭溪先生自筆（以下「A」と表示）

2. 〔雜抄及び書目〕（詩經傳說彙纂・嶺表錄異・浩然齋雜談抄出・享和文化年間書目）紙綻綴、印記・A

3. 〔雜抄〕（芻言・廣虞初新志・隱居通議・惜抱軒筆記・論語類考・群書疑辨・湛園札記・李石亭詩集・簷曝雜記抄出）墨刷九行單紙使用、印記・A

4. 孜々齋雜抄（經史問答・因樹屋書影抄出）印記・西嶋輓印、A（題簽は冊首に貼付、題簽内「西嶋輓印」「秋航」印あり）

5. 孜々齋雜抄（多識）（說郛、廣秘笈抄出）印記・A

6. 孜々齋雜抄（丙集）（鴻書・甕牖闌評・潤泉日記・浩然齋雜談・檀園集抄出）奥書・癸酉（文化一〇年＝一

八一三）七月予丁艱因倩柯亭草抄焉 長孫、印記・蘭溪（陽長方双刃）、A

7. 焦孝廉孟子正義鈔存三冊（全四冊欠第二冊）六つ目綴、奥書・天保戊戌（九年＝一八三八）冬十月 長孫抄謄、西嶋醇識語、印記・坤齋、蘭溪（陰方）、A

8. 東萊書說（附書疑）六つ目綴、西嶋醇識語、印記・A

9. 古文尚書冤詞八卷二冊（西河合集より抄出）印記・蘭溪（陽長方双辺）、西嶋氏記、A
10. 江聲尚書集注鈔（尚書集注音疏より抄出）識語・文化甲戌（二一年＝一八一四）臘月廿五日終業 西島長孫、印記・A
11. 唐 五代（新唐書・新五代史より抄出）紙綴綴、印記・A
12. 羣談採餘存二冊（全三冊欠第一冊）印記・西嶋氏記
13. 堯山堂外紀抄二冊 紙綴綴、印記・A
14. 能改齋漫錄鈔 印記・蘭溪（陽長方双辺）、西嶋氏記
15. 兩山墨談存一冊（全四冊欠第一至四冊）印記・西嶋氏記
16. 吹劍錄（讀画斎叢書より抄出）奥書・文化乙亥（二二年＝一八一五）臘月初三校讀一過眼学斎主人
17. 雲谷雜紀存一冊（全二冊欠第一冊）（武英殿聚珍版叢書より抄出）印記・雀船、西嶋氏記、表紙右上朱書「十号」
18. 知不足齋叢書抄錄（嶺外代答・游宦紀聞・顏氏家訓・江南餘載・五國故事）淺葱色一〇行野紙使用、印記・雀船、A
19. 清波雜志一二卷三冊 清波別志三卷一冊計四冊 印記・雀船、西嶋氏記、表紙右上朱書「十号」
20. 文選樓叢書鈔（雕菰樓集、詁經精舍文集抄出）西嶋醇識語、印記・蘭溪（陰方）、A
21. 周禮輯義 三傳彙義 爾雅參義各一冊計三冊（九經補註より抄出）他筆力、印記・西嶋氏記、表紙右下朱書「共三」
22. 攷古質疑 梅花渡異林 兩山墨談抄錄 奥書・文政十一（一八二八）二月十九日卒業、印記・蕉西夜雨、愿齋、

周道（連印）、西島睡菴先生自筆

23. 惜抱軒隨筆

癸辛雜識 雲谷雜記

西河雜箋

（開元天寶遺事・清暑闇（筆力）談抄出も収める） 浅葱色一

○行野紙（18.に同じ）使用、印記・蕉西夜雨、恩齋、□眞（連印）、周道（連印）、西島睡菴先生自筆

24. 四書辨疑存一冊（全二冊欠第一冊カ）論語（内題）原本は大学・論語・孟子・中庸の順だが他の三書の抄

出が第一冊か、奥書・弘化三年丙午（一八四六）夏六月抄録訖（此月連雨十八日及晦日午後初晴燈下記）、印記・

西嶋藏書記、模華居士、西島睡菴先生自筆

一 哲学

天人五行解

西川如見撰

元文三年（一七三八）写（氏教）

和大

121
ト190
1

昨非抄

（溝口）浩軒撰

天明元年（一七八一）五月刊（新發田〔藩〕藤間得康）

和大

B1
ト201
1

朱句点、書写奥書に「氏教」朱陰刻長方印あり、総裏打。

現存他本の刊記は「安永丁酉末秋」だが、本書書人に「安永六」酉年御編集也天明元年辛丑八月二十三日在方へ
昨非抄被下置コト」とある。朱墨書人、紙片挿入多数あり。朱は天保七年（一八三六）一二月渡辺水哉（黙容、
新發田藩儒）筆。墨は同人（嘉永二年講義時のもの等）および別筆もあるか。識語・渡辺黙容藏書、箴斎渡辺中
正藏書、蒙齋、印記・新發田藩渡邊黙容、作、満□、□、畊讀堂肥田埜氏圖書

聖教要錄 附聖教要錄辨義

和半

山鹿素行撰 古川黃一編 大正二年（一九一三）一〇月刊（素行会代表者古川黃一、民友社発売）

121
ト189
カ

活版、原帙入。昭和五八年（一九八三）六月川瀬一馬墨書識語あり。

1

〔太極管見〕 附復性辨三卷

和半

伊藤「東涯」（長胤）撰 享保六年（一七二一）一〇月写（高元暉）

B1
ト216
3

太極圖說管見、太極圖說十論、復性辨から成る。書写奥書は十論末にあり。天明八年（一七八八）二月大田錦城朱書入（句点朱引等）、乙酉（文政八年＝一八二五か）二月公愷（堤它山か）識語（醒齋先生宛）あり。印記・尚友堂藏本記、春草堂圖書記、錦城居士、元貞、邀歡□□、絳雪

和大

1233
ト31
8

詩經〔集傳〕八卷

和大

宋朱熹撰〔松永〕昌易注点

寛文四年（一六六四）九月刊（〔京〕・野田庄右衛門）

外題「〔首書〕詩經集註」、序題「詩經集傳」。朱書入（句点、訓点訂正等）、識語・寄附弘前図書館 櫻田維義、印記・野呂高之書章、野氏（連印）、高堅

和大

1233
ト33
3

八卷存卷五・七・八

和大

1233
ト33
3

同

和大

1233
ト33
3

〔宋〕朱熹撰松永昌易（寸雲子）注点鈴木尋思齋（温）校点 寛政三年（一七九二）五月刊（〔京〕今村八兵衛）覆寛文四年（一六六四）九月刊本。外題「〔新刻頭書〕詩經集註」。印記・内藤藏書

和大

1233
ト35
5

又

欠卷六至八

印記・廣業館（回文印）

〔官板〕五經大全存（申學士校正）詩經大全二〇卷首一卷 和大

（明胡廣等奉勅撰）林（羅山）点（承応二年（一六五三））刊（（京・吉文字屋庄右衛門））

外題「官板詩經大全」。（福島）末濟書入周密。本文訓点は享保一九年（一七三四）古義堂藏詩經集傳より移点。他に元修による墨書入あり。印記・明石市山下町二丁目九七一ノ二鳥居與三（卷三首）、同氏識語卷十にあり。

卷十末イタミ

詩經精華（一〇）卷存卷一至五

〔清〕刊

唐大綱長

123.3
ト34
1

毛詩抄

〔二〇〕卷存卷十九

B4判

D1
ト33
1

〔清薛嘉穎撰〕

〔昭和〕写（高木正一等）

和半

B1
ト179
1

〔毛詩抄〕（岩波書店、一九九九）解説（木田章義）によれば、戦前刊行の岩波文庫版（卷一至十）続刊のため一九五〇年代に作成された原稿。岩波書店名入り四〇〇字詰原稿用紙ペン書。経伝箋本文は別紙貼付（解説ではこれも高木正一作成とするが、抄文と別筆か）、赤ペン・鉛筆等訂正注記多し。同解説によれば寿岳章子旧蔵。

詩經集傳箋記（扉）（外題「詩經筆記」）存卷二

山宮（雪樓）講 稲葉迂齋錄

〔延享三年（一七四六）至四年〕写（自筆）

〔詩經集傳〕卷二（邶風日月から王風末尾まで）の講義筆録、朱同筆合点・注記あり。見返「稻葉迂齋先生自筆（時年六十四）」（池上幸一郎）、印記・稻正信（稻葉默齋）、池上所藏（池上幸一郎）

123.3
ト32
21

喪禮備要二卷附同圖

朝鮮申義慶撰 金長生補

〔朝鮮後期〕刊

韓特大

D6
ト27
2

八行二字、萬曆庚申（一六一〇）序に続き戊子（一六四八）刊語あり。識語・昭和拾八年四月／於京城求之／

藤（？）汭生

同

韓特大

同

崇禎三壬寅（一七八一）刊（秋嶺營）

行字數・序・刊語同前。卷下第一張〔朝鮮〕補写

韓特大

D6
ト28
2

同

崇禎四戊申（一八四八）刊（春嶺營）

行字數・序・刊語同前。印記・春雲、宋鍾徽景誦（？）印

和大

123.7
ト89
1

孝經

〔江戸後期〕刊（〔鶴岡〕・致道館藏版）

木活字版、浜野文庫藏本（ハ22A/22-24/1）と異版、尾題なし、巻末「致道館活字版」朱長方印あり。識語・於羽州内田川郡大山本町加藤幸七主、印記・加藤専之助

和大

D3
ト28
1

賀知章草書孝經（外）

唐賀知章書

大正二年（一九一二）五月刊（東京・審美書院）東京帝室博物館藏版

巻子本コロタイプ複製、本文は今文孝經。

孝經註疏九卷序正義各一卷（十三經註疏之二）

唐大

〔唐玄宗〕注 宋邢昺疏

崇禎二年（一六二九）刊（古虞毛氏汲古閣）

早印。卷一途中まで朱句点朱引あり。識語・明治二十四年卯十一月二十九日／舟戸山村齋藤平吉持用、印記・金節家藏圖書、宜爾子孫、白雀山房、龢□寛印、（いざれも人見竹洞か）

孝經直解三卷（卷二不全）（外題「古文孝經」）

和大

闕名者編

昭和六年（一九三一）刊（足利・足利學校遺蹟圖書館）

影印足利學校遺蹟圖書館藏〔室町末〕鈔本。

大學摘說・中庸欄外書二卷・論語欄外書二卷・孟子欄外書二卷・小學書欄外書 和半

佐藤一齋撰

〔幕末明治〕写（一筆）

論語のみ朱訂正追記あり、精写本。印記・綠猗堂藏書記

〔四書集註〕存孟子卷二至三・七至十四

和大

〔宋〕朱熹撰 題〔林羅山〕（道春）点

〔江戸中期〕刊

取り合せ本。第一冊（卷一・二）刊年不明、左右双边無界九行一六字、上白口下黒口。第二（卷七至十）・三（卷十一至十四）冊天明二年（一七八二）八月京・須原屋平左衛門等六肆刊記あり、四周單辺無界一〇行二〇字、黒口。第一冊識語・下条南刻／千野光三郎、第二・三冊印記・高松軒圖書記 *千野直一氏寄贈

〔大魁〕四書集註（外）存論語一〇卷卷六至十・孟子七卷 和大

123.8
ト261
5

123.8
ト259
3

123.8
ト255
7

123.7
ト88
1

B1
ト215
1

〔宋〕朱熹撰 〔弔文之玄昌点、弔如竹校〕 寛永二〇〇年（一六四三）刊（京・中野）道伴）

外題および版心題「大魁四書集註」、孟子は卷一、二・三、四・五、六・七の四冊。朱引書入。識語・吉忠、印記..

鎌田吉光

四書大全説約合參正解三〇卷附四書正解自畫辨訛欠卷十・十二・十五・二十六・二十八至三十 和大

清吳荃撰 丁・等校 闕名者点 〔元禄一〇年（一六九七）刊、江戸中期〕印（京・水玉堂天王寺屋市郎兵衛）

卷一・二・大學、卷三至五・中庸、卷六至十五・論語、卷十六至三十・孟子。印記・廣業館（回文印）

〔四書集注標釋六卷〕 存 〔論語集注標釋卷三〕

和半

〔伊藤東涯〕 撰 〔伊藤東所〕 編 〔江戸中期〕 写（一筆）

論語集注標釋のうち郷黨第十まで存。外題「論語標釋 乾」、朱句点朱引訂正書入あり。

大學〔章句〕

和大

宋朱熹撰 〔清原枝賢〕 点 〔室町末近世初〕写（一筆）

朱ヲコト点、墨返点送仮名豎点、永禄二年（二五六九）清原〔枝賢〕加証識語転写。墨書識語・朱春、朱書識語（墨滅）・仙十郎、印記・舜盛（黒陽刻小判型）、小林藏書、金合文庫

和半

大學證文

清毛奇齡撰 文政一二年（一八二八）四月写（塩谷〔宕陰〕） 転写龍威秘書本

昌平齋南院丁寮にて書写した旨の奥書あり、自筆案語等書入。

和半

中庸鄭氏義八卷

海保〔漁村〕（元備）撰 〔幕末〕写（一筆）

B1
ト218
8

123.8
ト254
1

091
ト385
1

123.8
ト260
1

123.8
ト234
ト23

巻八は附攷、その末尾「嘉永四年歲在辛亥十月廿六夜錄訖時年五十四 日本國俗儒氏海保元備春農」とあり。続日本名家四書註釈全書所収本と異同あり（特に巻八多し）。識語：曝書々屋藏、曝書堂藏、北総俗鑿石井庭槐卿藏、

印記：曝書堂

論語「集解」一〇卷存卷一至二

（魏）何晏撰

享禄三年（一五三〇）一二月写（清受叟）

有界六行二三字注小字双行、正平版転写本（高橋智氏分類の戊種にあたる）、「能之万松塔下」において書写し「鎮公老人」に付与した旨の書写奥書あり。印記：元山文庫（元山元造）、小林藏書、金合文庫

論語詠歌（外）二卷

和大

091
ト384
1

〔江戸中期〕写（一筆）

外題「論語上巻（下巻）詠歌」、五つ目綴じ、論語本文およびその内容を詠む和歌を列記、本文には朱墨訓点。

元箱蓋貼紙「文久四甲子年三月廿八日奥より御下御預被仰下候」

和大

092
ト137
2

論語欄外書二巻

和半

佐藤一齋撰
〔江戸後期〕写（一筆）

朱句点、書籍文物流通會ラベル貼付、印記：瀧川氏圖書記（瀧川君山）

和大

123.8
ト257
1

絅齋先生論語仁説（外）

B1
ト186
1

淺見絅齋撰 山崎〔闇齋〕（嘉）批 享保一四年（一七二九）五月写（澤田〔一齋〕）
転写武川愚齋所藏本。朱批点批評（貼紙含む）、武川愚齋は一齋の師若林強齋と同じ絅齋門下。印記：森川氏

孟子考

〔大賀〕 旭川（晨）撰

慶應元年（一八六五）一月写（榧木某）

内題「孟子考卷之一（丙寅／錄）」とあるが、尾題「孟子考終」のみ。丙寅は慶應二年、書写奥書と矛盾す。識語。

勢州朝明郡恕齋、印記・恕齋、小林藏書、金合文庫

孟子正義（抄）不分卷

清焦循撰〔朝川善庵〕編

〔江戸後期〕写（自筆）

外題「學古先生手寫／焦氏孟子正義」、柱に「學古塾藏」とある四周单辺有界一一行野紙使用。印記、修堂藏書（片山修堂力）、源氏所藏、小林藏書、金合文庫

孟子欄外書二卷

佐藤一齋撰

〔江戸後期〕写（一筆）

一部に朱句点返点訂正注記、墨句点あり。印記・和田藏書之記、古道照顏樓珍藏、青藍舍藏書記

同

〔江戸後期〕写（一筆）

朱句点。印記・瀧川氏圖書記（瀧川君山）

荀子述□卷存卷一

朝川〔善庵〕（鼎）撰〔片山述堂〕補

〔江戸後期〕写（一筆）

和大

B1
ト202
1

和半

123.8
ト258
1

和半

123.8
ト256
2

和半

123.8
ト253
7

和半

123.8
ト252
1

左右双辺一〇行墨刷罫紙使用、冒頭に諸本解題あり、注は序から榮辱篇第四までの零本だが、続日本儒林叢書所

収本の当該部分より大幅に増補あり、また諸本解題は儒林叢書において末尾に述堂手写本により補つてあるものに同じ。浅葱・薄紅不審紙あり。

性理字義諺解八卷

和大

125
ト158
8

〔林〕羅山撰

万治二年（一六五九）八月刊（〔京〕荒川四郎左衛門）

厚手楮紙・五つ目綴・大ぶりの特製本、外題「性理字義抄」。印記・金澤學校、村上氏藏書、悠久山房主人

標註校正小學合璧六卷

和大

125
ト159
4

宋朱〔熹〕撰 明陳選注 陳際泰編 陳仁錫校 山中幸武標注点

万延元年（一八六〇）秋刊（大坂・河内屋

喜兵衛、江戸・三田屋喜八、京・芳野屋仁兵衛、知止庵藏版）

第一冊に卷一・二、第二冊に卷三・四を收める。識語・秋潭 *

千野直一氏寄贈

莊子膚齋口義

和大

126
ト32
10

宋林希逸撰

和大

126
ト32
10

〔宋〕李士表撰 略名者点 〔寛永〕刊、寛永六年（一六二九）一一月印（京・風月宗知）

外題「莊子」、附錄部分白文。朱墨書入（卷三途中まで）。印記・阿弓河文庫。保田清宛京都帝國大學辭令（大学院特別研究生）挿入

棠陰比事三卷

和大

128
ト32
1

宋桂萬榮撰 元田澤校 略名者点

〔寛永〕刊（京・閔吉右衛門）

覆〔寛永〕古活字版、刊記下巻末ノドにあり。朱批点、青句点、明治二三年（一八九〇）足立六藏譲渡識語あり、印記・平塚氏圖書印

醉古堂劍掃 一二卷存卷六至十二

和中

〔清〕 陸紹璗撰 陸紹璗校 〔池內陶所校〕 嘉永六年（一

128
ト33
1

竹紙風料紙、
齧頭校勘あり、
後印。印記…花長
〔?〕圖書

2

六韜六卷欠卷一首

和大

〔室町末近世初〕写（一筆）

列帖装、料紙厚手楮打紙、墨返点送仮名、朱豎点朱引、別筆朱墨語注多し。ペン書書誌解題メモ（横山重）あり（青ボールペン別筆訂正書入）、帙は弘文荘説え。

三畧私

和大

闕名者撰

筆

外題「黃石公三略 〈聽書〉」。識語：「工チゴ」甚袋房

筆)

大易断例卜筮元龟三卷欠卷中

和大

〔元〕蕭天祐撰 闕名

朱句点合点朱引、墨返点送仮名注記、薄墨彩色繪入。

卜筮樞要二卷存卷下

和半

平澤隨貞撰	同隨鳳錄
隨龍	〔左仲〕
編	皆川知來校
〔文化〕	〔江戸後期〕
○〇年	印〔大坂河〕
〔一八一三〕	
刊	

坂河 148
ト5 1

内屋和助等
一一肆

刊年は『享保以後大阪出版書籍目録』による。刊記のうち、江戸・岡田屋嘉七に「一氏」朱陰刻方印を捺す。印記：一氏朱陰刻方印

高松軒圖書記 *千野直一氏寄贈

五行大義卷第五

隋蕭吉撰

昭和七年（一九三二）六月刊（高木利太）

和大

高野山三寶院藏宝治二年加点本の複製、内藤〔湖南〕解説、原桐箱入。川瀬一馬宛高木利太書簡（印刷）を付す。

川瀬一馬旧藏。

〔陰陽八卦之法〕

闕名者撰

〔江戸初期〕刊（太兵衛）

和半縦長

B1
ト182
1

書名は他本の呼称による。刊語中および外題朱打付書「八卦本」、折本、表紙表裏とも欠、雲母引料紙、成賓堂文庫藏無刊記本、狩野文庫藏寛永五年刊本とも異版。裏にまじない、占い等について書入多し。

せいめい哥うら

和特小

D2
ト131
1

闕名者撰

〔江戸前期〕刊

和半縦長

D2
ト25
1

外題「せいめいうたうら」、柱題「哥占」。末尾欠。太田正弘「おみくじ」の源流に就いて――「歌占本」の紹介――（書籍文化史）一七、二〇一六・一）に紹介される同名書とは異なり、本書は挿絵なし、見返絵のみ。

民家童蒙解二卷存卷上

和半

159
ト25
1

常盤貞尚撰

〔天明元年（一七八一）刊、明治〕印（京都・奎星堂〔勝村治右衛門〕）

159
ト25
1

裏表紙朱書識語・千野丑次郎

*千野直一氏寄贈

〔祝詞考三卷存卷上首次〕

和大

ヒ092
ト1
1

148
カ
ト4
1

〔賀茂真淵〕撰

〔江戸中期〕写〔自筆〕

冊子改装巻子本。巻上春日祭から巻末まで存、鈴屋本に近い本文の清書本に訂正を加えたもの。青句点、外題別筆「祝詞考草稿加茂翁筆」修補前の元表紙別置。印記・平岡連文庫印、平岡家寄贈圖書之印昭和三十三年十一月

佛說長阿含經二三巻

和大

姚秦訥佛陀耶舍、訥竺佛念訥

〔江戸前期〕刊〔近代〕印

巻末校訛・音釋を付す、第一・二・三・六冊末に二至三行分の墨釘あり。

〔妙法蓮華經注化城喻品第七断簡〕

和

後秦訥鳩摩羅什訥

〔奈良〕写〔一筆〕

巻子本断簡、茶色料紙、行一七字注小字双行、界高二二・〇糸、界幅二・八糸。注の性質不明。

妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五〔外題「普門品〕

和大

後秦訥鳩摩羅什訥

〔江戸〕刊〔江戸・寛永寺〕

古活字、天海版一切經抽印、後印カ。折本、「東叡山藏板」印あり。

同

和中

後秦訥鳩摩羅什訥

〔明治〕刊〔東京・森江書店〕

折本。

妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五

和小

後秦訥鳩摩羅什訥

明治二〇年（一八八七）一月刊〔東京・濱島書店〕

183
ト14
1

183
ト13
1

B1
ト177
1

092
ト144
1

183
ト15
7

折本、発行者住所氏名部分捺印。

妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五

和半

後秦釈鳩摩羅什訖

昭和二二年（一九三七）刊（東京・和風堂）

守田愿筆本のコロタイプ影印。折本。

佛說觀無量壽經

和大

劉宋釈畱良耶舍訖

〔江戸後期〕刊

折本、黃鑲色料紙。寛政二二年（一八〇〇）谷中山願泉寺所藏識語あり。

金剛瑜伽最勝秘密成佛隨求即得神變加持成就陀蘿尼儀軌

和大

唐釈不空訖

享祿二年（一五二九）一一月刊（釈良存）

折本、冒頭に「啓請」、末尾に偈および「補闕真言」を付す（とともに大正藏になし）、刊語「為興三寶妙道酬四恩廣德謹開印板而已」、享祿二年（戊丑）十一月廿六日 良存（正しくは己丑）、尾題「隨求即得真言儀軌一卷」。

全裏打。識語・重憲房（端裏）、（眞如院）快盛／相傳覺盛（表紙）、後住快長授与相傳覺清、印記・小林藏書、

金合文庫

梵網經盧舍那佛說菩薩心地品第十 二卷存卷上

和大

後秦釈鳩摩羅什訖

〔鎌倉〕刊（法隆寺）覆承久二年（一二三一〇）乘願刊本

折本。印記・南山北坊（高野山清淨心院）

阿毘達磨俱舍論講義九卷

和中

183
ト16
10

091
ト383
1

091
ト387
1

183
ト11
8

183
ト12
1

釈法宣撰 櫻井寶鈴編

明治三年（一八九八）三月刊（京都・法藏館西村七兵衛等四肆）

安士全書

唐大綻長

184
ト4

清周夢顏撰 民国一二年（一九二二）七月刊（上海・佛學推行社、浙江定海普陀山法雨寺并佛學推行社通信部藏版）
排印、内容・文昌帝君陰験文廣義節錄二卷首一卷（附明袁了凡四訓・俞淨意公遇竈神記）、萬善先資集四卷（附
戒殺放生文四種・明釈雲棲株宏、宋釈慈雲、明曾大奇、〔清〕釈聖量南潯）、欲海回狂集三卷、西歸直指四卷首一
卷（懷西居士遺像・像贊・周安士居士傳）（附省庵法師勸發菩提心文）。刊記に「四版壹萬部」とあり

龍樹菩薩念誦次第

和樹型

092
ト151
1

闕名者撰

〔南北朝〕写（一筆）

粘葉装。弘安元年（一二七八）一二月觀尊本奥書。外題および卷首題下に、梵字とともに「五十九」とあり、装訂・
識語とも共通する龍谷大学図書館蔵の次第書の分かれか。識語・尊鏡之、印記・花藏院高筭、桐箱に書名・番号
とともに「伴実」と記されたラベルあり。京都国立博物館収蔵伴實コレクションの分かれか。

〔諸尊〕表白〔集〕八卷存〔諸菩薩・文殊・明王・諸天〕

和大

091
ト391
1

釈印融撰

〔江戸初期〕刊

袋綴古活字版、無辺無界九行一七字、柱題「表白」、冊末に延徳一（ママ）年辛亥五月二日印融奥書あり。〔諸菩
薩〕末張欠か。

高野大師行狀圖畫一〇卷

和大

091
ト381
10

闕名者撰

〔江戸前期〕刊

鏡憲・文性旧藏、印記・アカキ（横山重）＊松本隆信氏寄贈

〔高野山秘記〕首次

闕名者撰

嘉禎四年（暦仁元年＝一二三八）写（二筆）

092
ト146
1

和小

黄葉染綾紙、裏書あり。奥書に先海僧正—釋王寺闍梨—高野中院闍梨—琳賢闍梨—光明寺阿闍梨—賢有闍梨—賢秀—（梵字2字、オンア）—という相伝系図あり。旧題「土佐国御栗野明神記」、参考・中世高野山縁起集（真福寺善本叢刊）および本輯所収の高橋悠介論文。＊久保田淳氏寄贈

聾瞽指歸序註二卷

和大

〔积空海〕（遍照金剛）撰 积北辰注 延宝三年（一六七四）九月刊（（京）・前川茂右衛門）

識語・實嚴、印記・榮山

和大

188
ト50
1

积聖賢撰

〔江戸後期〕写（一筆）

承元四年・承久二年・明和元年本奥書、朱墨訓点注記（原本の様態、転写時の省略、本文異同等）あり。印記・

神田家藏、香巖（神田香巖）

和大

188
ト51
8

往生要集義記八卷

寛永一八年（一六四二）二月刊（（京）書舍理兵衛）

积良忠撰
一部に朱句点合点朱引、墨注記あり。＊久保田淳氏寄贈

眞宗和語聖教 一三卷存卷六至十三

和中

188
ト52
6

西村九郎右衛門編

明治一四年（一八八二）三月刊（京都・西村九郎右衛門）

文化八年刊『眞宗假名聖教』と同内容か。卷六・淨土真要鈔二卷、諸神本懷集二卷、破邪顯正鈔三卷、卷七・教行信證大意、顯名鈔、決智鈔二卷、卷八・存覺法語、持名鈔二卷、女人往生聞書、歩船鈔二卷、卷九・報恩記二卷、法華問答二卷、淨土見聞集、卷十・十一・正信偈大意、蓮如上人御一代記聞書、實語記附目録、卷十二・十三・蓮如上人遺德記、反古裏、唯信鈔、後世物語聞書、一念多念分別事、安心決定鈔二卷（卷十・十一、十二・十三は冊内での分巻が不明）。薄葉刷、原帙入。

〔竺仙和尚語録〕不分巻

和大

091
ト375
10
4

积竺仙梵僊撰 积裔堯等編

〔江戸前期〕写（寄合書）

転写（南北朝）刊竺仙和尚語録二巻本（本文のみ）、一部に朱句点・批点・合点・朱引あり。印記・太平興國南禪禪寺、金地院、神田醇印、香巖、神田家藏（以上三顆神田香巖）

景德傳燈録三〇卷欠卷七至十二・十九・二十・二十三至四

和大

091
ト375
10

宋积「永安」道原撰

貞和四年（一三四八）刊（京）建仁寺天潤菴玉峯正琳）

延祐三年（一三一六）原刊記あり。原装時三〇冊を一五冊に合冊したもののうち。後付未欠。一部に朱句点。識語・海會寺常住（または「公用」、ほとんど墨滅）、印記・敬復齋（巻三末のみ、閑室元信所用）、金澤文庫（朱、偽印）

永嘉大師證道歌（外題「鼈頭證道歌」）

和半

188
ト47
1

〔唐〕积永嘉「玄覺」撰 积等攝道注

明治一一年（一八七八）九月刊（愛知・濤聽水）

正眼寺僧堂藏版、壳捌人・栗田東平 折本。

靈源和尚筆語

宋釈靈源〔惟清〕撰 閣名者点〔江戸前期〕刊、〔江戸中期〕印 (京・藤屋三郎兵衛)

京・藤屋武兵衛藏板書目 (江戸中期のもの) を付す。朱墨書入多し。

和大

二 歴史

近世西史綱紀一〇卷存卷一至二・四

和半

209
ト1
3

米ウキルソノ〔Wilson, Marcius〕撰、堀越愛國・保田久成訳 小島忠廉校 明治四年 (一八七一) 一〇月〔至

一〇年七月〕刊 (文部省・〔東京師範學校〕藏版)

第一帙 (卷一・二) および第二帙のうち卷四のみ存。外題角書「官版」。卷一冒頭に多色刷銅版地図七図 (慶岸
堂翠山銅鑄) あり。卷二末に出雲寺萬次郎等六肆、卷四末に同じく三肆連名刊記あり。第一帙版心には「大學南校」
とあり。なお第三・四帙 (卷五至七、八至十) は明治一〇年七月刊、保田訳、東京師範學校藏版。表紙朱書「乙
第三号」、印記・蘆屋中學校印、長崎中學校文庫印、第五大學區長崎師範學校圖書之印 (卷四のみ) (いずれも消
印重捺)

又 存卷一至二

和半

209
ト2
2

表紙朱書「乙第六号」、印記・蘆屋中學校印 (消印重捺)、大後藏書 (朱線重書)

和漢軍談紀略考大成附歴代事實出所書目

和小

210
ト13
1

188
ト48
1

闕名者編 大郷信齋増訂 牧野善兵衛補 (附) 鶴峯戊申編

天保二二年 (一八四二) 五月刊 (江戸・名山閣和

泉屋吉兵衛・和泉屋善兵衛等六肆)

折本両面刷、裏は附録を収める。外題角書「増補」、表末尾に名山閣藏板目録あり。

大日本王代記 (扉)

和小

D2
ト132
1

〔吉田光由〕原撰 闕名者増補

〔延宝三年〕刊至〔元禄七年 (一六九四)〕通修

外題「〔元禄五〕王代年代記」、第一〇九張裏途中 (延宝二年) より追刻、第一一二三張表 (天和元年) より再追刻、第一三四張裏元禄七年までの記事あり。末二張はこの間隨時追刻したか。

〔有職故実資料〕

和

B1
ト190
17

闕名者編

〔江戸後期〕写

〔全一七点、各包紙入り、資料名は包紙上書による〕

実物七点・菊綿、宣命袋白生同 (絹力) 緒、紫平打、蟠結鮑結、蟹取小文、茜染 (手製)、潦之圖 (貝引料紙に金泥刷) 拓本 (フロツタージュを含む) 四点・銅櫛 (戯場之櫛歟)、方寸匕圖、平宗盛手跡墨本 (巖島水精寺梵鐘施入識語)、

墨本天皇御璽并大學寮印 (大宝三年七月二十日文書末尾断簡石刻 (?)) の拓本)

雛形一点・御燈籠釣緒結様雛形 (これのみ別筆)

模写五点・琵琶撥 (江州竹生嶋)、和鞍之圖 (春日権現驗記)、覓圖、鑣、東大寺八幡宮什物面懸胸懸

印記・月の屋 (瓢箪型、横山由清力)、雛形にはナシ)、温故堂文庫 (塙家)

〔聚樂第行幸記〕

和大

092
ト141
1

〔大村由己〕 撰

〔室町末近世初〕 写 (〔建部伝内〕)

卷子本、楮薄茶打紙料紙、和歌後陽成・秀吉二行書、他は一行書。二重箱、外箱蓋表「後陽成天皇聚樂行幸記
〔天正十六年五月吉辰梅庵由己記／建部賢文筆〕」

史畧六卷

和大

091
ト395
6

宇〔野〕久恒 (子常) 撰 〔江戸中期〕 写 (〔自筆〕)

外題「史畧々」、卷六上下分巻、内題次行「張藩 宇久恒子常撰」(巻六のみ「宇」を「源」に訂正)、神武から南北朝統一まで。朱墨青綠訓点注記。撰者は尾張藩士、『群書治要』刊行にも関与する。印記・宇埜氏圖書 *

藤山工業図書館移管本

逸史一二巻首一巻

和大

211
ト21
13

中井〔竹山〕 (積善) 撰 文化五年 (一八〇八) 五至閏六月写 (〔山口〕 耕軒)

左右双辺一〇行墨刷野紙使用、墨句点、朱鉤 (文末を示す)、欄上標目注記等墨書あり。印記・韓國餘璋王孫 (朱陽長方印、書写者所用か。耕軒は餘延年長男、竹山門下)

和中

211
ト22
1

武藤藏三郎編 小野泉閑 明治九年 (一八七六) 五月刊 (甲府・内藤伝右衛門)

活版、巻上首・版心「日本畧史字解」となっているが、外・見返・上下尾・巻下首の題を採用した。

日本紀竟宴和歌題 (尾)

和大

B1
ト208
1

闕名者編 文久三年 (一八六三) 四月写 (山澤尹詮)

嘉永三年谷森善臣筆本（三条西家本の模写、書陵部現藏）の安政四年久米幹文転写本の再転写、虫損跡も忠実に模写するが、界線は第二張以下省略。書写者は和歌山藩士・画家の山沢与平。（太田晶二郎）筆解題のカーボンコピーを挿入する。印記・晩翠記室（山沢与平カ） *久保田淳氏寄贈

日本後紀二〇卷

和大

213
ト13
20

闕名者撰
〔江戸前期〕写（一筆）

六国史とは別書。元禄五年に水戸黄門卿本と校合した旨の朱書識語あり。他にも類聚国史・性靈集等との校異朱注あり。

南京遺芳附卷

和半

217
カ
ト2
1

佐佐木信綱編 橋本進吉撰 昭和二年（一九二七）七月刊（佐佐木信綱）

南京遺芳解説、南京遺文拾遺解説から成る。活版、原帙入。川瀬一馬旧蔵

尚古圖錄（外）

和特大

D1
ト32
1

横山由清編 明治三年（一八七〇）七月稟准（東京・鈴木喜右衛門、横山由清藏板）

大和綴、厚手楮紙、一部多色刷、刊記は裏見返貼付。表紙に「H.N.」と印刷したラベルに「090／AA7／0082」とペン書。

妙槐記

和大

217
ト3
4

〔花山院〕師継撰
〔江戸後期〕写（山田以文）他

取り合わせ本。第一冊・寛元二年（一一四四）正月日次記（二十一日条まで）、第二冊・文応元年（一一六〇）

四月日次記、末尾に応永三三年（一四二六）本奥書、本冊のみ欠損部分墨囲表示あり、第三冊・寛元元年（一二四二）八月立太子除目記、第四冊・文応元年正月他宣旨記、元禄一五年（一七〇二）本奥書。第三・四冊は山田以文筆か。虫損大、印記・日野西家藏書（第一・二冊）、識語・梨陰藏（第三冊）、錦所（第四冊）（ともに山田以文）*久保田淳氏寄贈

史記一三〇卷存首・卷一・六・十一至一・十九至二十・二十三至四・七十至三・百六至百十六・百二十一・百二十一至八
和大

漢司馬遷撰 劉宋・裴駟集解 唐司馬貞索隱 唐張守節正義

〔慶長〕刊

古活字版有界八行本、百六至九・百十至十一・百十二至六で分冊。朱墨訓点注記書入、印記・黒川氏圖書記（黒川春村）

資治通鑑〔二九四卷〕存卷八十八有欠

唐特大

宋司馬光撰〔元〕胡三省音註〔元〕刊〔興文署〕

胡蝶装、水損あり。

戦國策補正三卷

和半

安井〔息軒〕〔衡〕撰

〔明治〕写〔一筆〕

和中

222
ト148
4

091
ト406
1

増補元明史略四卷

明舒弘譯原編 後藤芝山（世鈞）編 山本清溪（藤原正臣）補 岩垣謙亭（其暉）校注 明治三年（一八七〇）四月刊、同八年一一月以降印（京都・五車樓藤井孫兵衛）

卷一・二と三・四取り合わせ。八年に同版元より奥野精一標注本出版、本書奥付の版権免許年月日は同書のもの。

朱書入あり、卷三・四水損。 *千野直一氏寄贈

名字指南

和半

281
ト17
1

黒河春邨（黒川春村）撰 文久二年（一八六二）五月刊、明治一四年（一八八二）九月印（東京・萬青堂嶋屋平七）見返「名乘指南」。畫引・音引・訓引を収める。刊記嶋屋以外に「鷹金屋善助元版」等八肆列挙。

息軒先生三計塾学生名簿（附獻立 塾規 会日）

和横

091
ト382
1

〔辻坂之助〕撰并編 〔明治四年（一八七一）〕写（〔自筆〕）

紙縫長帳綴、外題「三計塾人名記 同規則 附雜備忘記」。筆者自身四月十二日入塾と記すので、安井文庫蔵『游從及門』の内容と照合、最も可能性の高い伊勢菰野藩辻坂之助と推定した。

〈近世遺勲〉高名像傳

和中

281
ト16
1

子安信成編 石田溪岳書画 明治二三年（一八八〇）五月刊（東京・松悦堂〔出雲寺萬次郎〕）

奥付欠落、卷首に「首巻」、卷尾に「巻二終」とあるが分巻せず。識語・千野氏、印記・千 *千野直一氏寄贈
標題徐狀元補注蒙求三卷 和大

282
ト22
3

唐李瀚編 宋徐子光注 疎名者点（寛永）刊、同一二年（一六三五）四月印（〔京〕・中野市右衛門）

中冊のみやや大ぶり早印の取り合わせ、その裏表紙裏張に大魁四書集註（版種未詳）のうち孟子卷三（滕文公下）二八才を使用。朱墨書入多し、識語・超藏司（上下冊）、大頭村佐伯氏（下冊）佐伯惟明（下冊）、印記・大頭村大溝田野藏印（上下冊）

諸陵図（外）

和大

ヒ092
ト2
1

〔江戸中期〕写

闕名者編 絵師三郎左衛門秀行・堤惟徳画
卷子本。明和五年永井元長、同七年吉川茂周奥書、朱筆にて享保度陵墓調査に関する注記あり。修補前の元表紙
別置。印記・平岡連文庫印、平岡家寄贈圖書之印昭和三十三年十一月

三 社会科学

明治十二年太政官達（目）

和中

320
ト1
1

太政官撰 明治一二年（一八七九）刊（東京・太政官）

第三拾八號（一〇月九日）より無号（二二月二六日、二通）までを合綴。洋紙活版両面刷、ただし目録は所蔵者
作成墨書、他に一部補写部分あり。識語・小田切、印記・竹亭書

明治十三年太政官達（目）

和中

320
ト2
1

太政官撰 明治一二年（一八八〇）刊（東京・太政官）

第一號（一月一〇日）より第六拾七號（二月二八日）までを合綴。洋紙活版両面刷（朱刷部分あり）、ただし
目録は所蔵者作成墨書、他に一部補写部分あり。識語・小田切、印記・竹亭書

明治十四年〔太政官〕 布告（目）存卷上

和中

320
ト3
1

太政官撰 明治一四年（一八八二）刊（東京・太政官）

第一號（一月一〇日）より第三拾四號（五月二八日）までを合綴。洋紙活版両面刷（朱刷部分あり）、ただし目

録は所蔵者作成墨書。識語・小田切、印記・竹亭書

明治十四年太政官達（目）存卷上

和中

太政官撰
明治一四年（一八八二）刊（東京・太政官）

320
ト4
1

第壹號（一月一四日）より第五拾三號（六月一五日）までを合綴。洋紙活版両面刷（朱刷部分あり）、ただし目録は所蔵者作成墨書。識語・小田切、印記・竹亭書

明治十三・十四年大藏省乙号達】

和中

大藏省撰
明治一三年（一八八〇）至一四年刊（東京・大藏省）

320
ト5
1

一三年乙第三拾八號（一一月二二日）より乙第四拾五號（一二月二五日）、一四年乙第壹號（一月二二七日）より乙第五拾三號（一二月二八日）までを合綴。和紙袋綴活版刷（一部洋紙活版両面刷、朱刷部分あり）、ただし目録は所蔵者作成墨書。識語・小田切

明治十四年農商務省達（目）

和中

農商務省撰
明治一四年（一八八二）刊（東京・農商務省）

320
ト6
1

達第壹號（一二月二〇日）から第二號（一二月二七日）まで、甲号布達甲第壹號（五月二四日）から甲第四號（八月二五日）まで、乙号達乙第一號（四月一一日）から乙第十二號（一二月五日）までを合綴。和紙袋綴活版刷（一部洋紙活版両面刷、朱刷部分あり）、ただし目録は所蔵者作成墨書。識語・小田切

明治十四年工部省布達（目）

和中

工部省撰
明治一四年（一八八二）刊（東京・工部省）

320
ト7
1

布達第壹號（一月一一日）から第貳拾號（一二月六日）まで、達第壹號（一〇月五日）から第貳號（一二月一三日）までを合綴。洋紙活版両面刷（一部和紙袋綴活版刷、朱刷部分あり）、ただし目録は所蔵者作成墨書き、他に補写部分あり。識語・小田切

〔明治十六年内務省告示達等〕

和中

320
ト8
1

内務省他撰
明治一六年（一八八三）刊（東京・内務省等）

内務省告示甲第壹號（一月一一日）から甲第十二號（六月二九日）まで、同達乙第壹號（一月二六日）から乙第三十三號（六月二七日）まで、内務省衛生局報告第三拾五號（二月六日）から第四十號（五月二八日）まで、宮内省告示甲第壹號（一月一五日）、警視廳告第壹號（二月一日）から第七號（五月二八日）まで、同布達甲第一號（一月一三日）から甲第十一號（六月三〇日）まで、同達乙第一號（一月一三日）から乙第拾號（六月二九日）までを合綴。洋紙活版両面刷（朱刷あり）、ただし警視廳は和紙袋綴活版刷（多色刷あり）。

職原昇進雙六並仕法記一冊（外）附〔官位相当表〕

和

B1
ト189
3

闕名者撰
〔江戸中期〕写（重興ほか）

二鋪（雙六・官位）および中一冊（仕法記、外題「職原双六屏風指南」）。雙六は檀紙淡彩。

令義解一〇卷序目一卷

和大

322
ト21
11

清原夏野等奉勅撰
〔立野春節〕（林鷗）校点 慶安三年（一六五〇）跋刊

全三〇編のうち倉庫令・醫疾令原欠、關市令欠。卷一首題なし。校点者は後序に「慶安三祀（庚寅）蓬生巷林鷗（刻印「立／春節」）とあり、書陵部蔵本（171-188）に立野春節との注記書入あり。朱（二筆以上）・青・墨書入（校注、

訓点等) あり。卷四末に正元元年一〇月一四日伝授識語転写(紅葉山文庫本によるか)。印記・讀耕齋之家藏(林
讀耕齋)、武州府中善明寺藏

出使公牘一〇卷

清薛福成撰

光緒一四年(一八九八)五月跋刊(無錫薛氏藏版)

版心「傳經樓校本」、封面裏「光緒丁酉(一三一年)孟夏開彫」、卷四・五・六・七各一冊。印記・巖邨家藏

大唐六典〔三〇卷〕存卷十五至十八

和大

322
ト23
1

唐元宗(玄宗)撰 李林甫等奉勅注 闕名者点(天保七年(一八三六)刊(昌平坂学問所))

官板。外題・版心題・尾題「唐六典」。

印記・天橋文庫、亮天社印、原民次郎寄贈(亮天社は明治維新

後宮崎県延岡に設立された私学で、慶應義塾とゆかりが深い)

文獻通考〔三四八卷〕存卷293上

唐特大

091
ト22
1

〔元〕馬端臨撰

〔泰定元年(一三一四)〕刊(西湖書院)

早印、胡蝶装、左右双边有界一二三行二六字、線黒口双内向黑魚尾、第一〇張左第一〇行に墨釘あり、刻工名・芦、
之、庚、子、彑

得一錄(外)〔一六卷〕存卷五至六

唐半

322
ト22
1

〔清余治撰〕

〔清〕刊

早稻田大学図書館(ワ0406318)と同版。

清俗紀聞〔二三卷〕存卷二至五

和大

382
ト1
1

唐大綻長

322
ト20
8

〔中川忠英〕撰 〔石崎融思〕等画 〔寛政二年（一七九九）八月刊、明治二七年（一八九四）一〇月〕印 〔東京〕博文館)

裏見返に博文館広告あり。印記..升井藏書 *昭和一七年三月一日升井五郎左衛門氏寄贈後、図書館より移管

四 自然科学

日抄二卷

和大

〔平野庸脩〕編

〔江戸中期〕写 〔自筆〕

天文関係記事を漢籍（一部和書）より抜抄分類したもの、同筆朱句点・朱引・合点・訂正等あり。編者（？）――

七七六）は播磨の郷土史家・医者。印記..平野庸脩（代赭色陰刻单刃方印） *久保田淳氏寄贈

七 芸術

通常財産御道具帳（外）存卷二至六・八至九

和大

〔佐竹家関係者〕編

〔明治〕写（二筆）

佐竹家所蔵古典籍、文書、茶道具、武具、絵画、書跡、文房具等の分類目録、卷一・七・十以下を欠く。五つ目綴、布表紙、水損あり、「大正六年十一月五日賣却」印および朱抹消線を伴う項目多し。印記..佐竹

福富草紙絵巻 零本上巻（外）

和特大

闕名者撰 昭和一六年（一九四一）一〇月写（山田忠雄）

721
ト11
1

B1
ト181
7

B1
ト209
2

臨靜嘉堂文庫藏本。「連歌合集」名入原稿用紙に青鉛筆書。

福富草紙絵巻 上下合一巻（外）

和特大

721
ト12
1

闕名者撰

昭和一六年（一九四一）一〇月写（山田忠雄）

池底叢書本福富草紙画詞（外）

和特大

721
ト13
1

闕名者撰

昭和一六年（一九四一）一〇月写（山田忠雄）

三十六人哥仙（蓋裏）

和大

092
ト140
1

臨靜嘉堂文庫藏本、書陵部本との校異等朱筆書入。「連歌合集」名入原稿用紙に青鉛筆書。

闕名者編 〔狩野常信〕画 〔江戸前期〕写（二条光平等公家寄合書）

折帖装、和歌は金泥下絵小色紙、絵は利休鼠色絹本に淡彩、各絵落款印「藤」朱陽双刃方印あり。末尾に寛文三年六月古筆了榮極書および筆者三六人分の極札（一二枚ずつ未分割のまま貼付）あり、蓋裏「三十六人哥仙（絵狩野右近筆（右傍「常信」）／哥公家衆寄合書）／外題飛鳥井雅章」紙片貼付。

〔竹洞画論〕

和

092
ト145
1

〔中林〕竹洞撰

享和二年（一八〇二）写（自筆）

和

092
ト145
1

冊子改装巻子本、末尾「享和二年三月述於平安之僑居 竹洞（捺印「竹洞／居士印」）」。朱句点朱引、朱墨訂正書入。首に、明治二三年〔中根香亭〕序二篇、尾に明治三五年〔石川〕鴻斎・同〔石川〕柳城・明治二三年内海竹堂跋・某年〔中林〕清淑題詩（梅花図共、竹堂跋と同紙）を別紙にて補う。〔富岡〕鉄斎箱書表「竹洞山人眞蹟南宗畫論卷」

裏「為石川柳汀子鍊齋漫士題」、印記・柳汀珍藏（石川柳汀）、茂。昭和一三年堀江瀧三郎宛徳川美術館感謝状（尾張名家展覧会への出品に対して）を付す。

〔藤原鶴来書道講義録〕

和A5・B5

728
ト20
11

藤原鶴来（茂）講 前田幹照録 昭和二八年（一九五三）至三六年、同五二年写（前田幹照・伊楚子）
ノートブックにペン・鉛筆・筆ペンにて書写。*堀晶子氏寄贈前田幹照旧蔵書

入木抄（目）

和半

728
ト22
1

尊円〔法親王〕撰

〔江戸後期〕写（一筆）

料紙薄様、天明元年（一七八一）森尹祥本奥書あり、尹祥筆本は伊藤緑苔『入木抄の研究』に書影あり。印記..

本山文庫（本山彦二）

〔和歌書式等〕 雜記（外）

和半

728
ト23
1

文政一〇年（一八二七）三月写（高橋昌治）

歌会作法、懐紙書式（持明院基時・有栖川職仁・三条西実枝）、色紙形書式（藤田知休軒）、箱書書式（森尹祥）、百人一首・三十六歌仙色紙書式などを収める。文政八年一二月中島真佐城筆本の転写。印記..無水庵文庫、一寓倉澤理一氏之家

書式要傳集六卷

和横大

728
ト21
1

〔江戸前期〕写（一筆）

料紙薄葉。印記..星藤

撥蹬真詮

〔細井〕廣澤（知慎）撰

〔江戸後期〕写（自筆）

和大

09A
133
1

外題「書」、末尾に宝曆六年七月門人赤城源章仲文（序者でもある）校訂識語あり、同年刊本の写しが。朱注記あり。挿込の原稿用紙ペン書解題（〔横山重〕）は本文・朱注記とも橋守部筆とする。印記・椎本文庫

〔名人真蹟模写帖〕

澤井雞石編

和半

B1
ト206
2

〔江戸後期〕写（自筆）

折本、所蔵する中近世学者・詩人・画家・歌人・俳諧師・僧侶等の筆跡の主として落款部分を挿引料紙に模写貼付、略伝を添える。弘化二年（一八四五）角田錦江自筆序あり。上帖裏に大正一四年三月二日改の極札一覧あり（直樹記」とあり）。

十二月往来 新十二月往来

和大

ヒ092
ト3
1

〔伝藤原良経〕撰 〔加藤千蔭〕書 〔江戸中期〕写（加藤千蔭）

転写鵜殿余野子筆本。千蔭跋「こはあるときやことなきわたりより春秋の行かひふみ書て見せよとわかあかたるのときなにきこえさせけるにおきなふるきよのふみか、なへあけつらふことにいとまなければはやくより翁にこと、ひしよの子の刀自にあつらへてか、せられしなりまろいわけなかりしよりおなしまなひにむつましみせしをおもひてさみたれの雨つ、みに花たちはなのかをれるまとのうちにて手ならひにうつせり ちかけ」冊子改装
卷子本、外題「十二月往来 千蔭」、同筆訂正書入あり。印記・平岡連文庫印、平岡家寄贈圖書之印昭和三十三
年十一月

〔蘭亭図詩〕

滕子豐編

安永五年（一七七六）八月跋刊（編者）

卷子本、拓本。蘭亭序（褚遂良模）、蘭亭図、蘭亭詩、後序、柳公權書簡、米芾跋、宋高宗跋、陸東之蘭亭詩から成る。

末尾數孤山跋文中編者名を記す。外題題簽墨書「蘭亭序山口氏珍藏」、印記：本山彦印、松齡老人（共に本山彦）

大寶箴 梅花詩

韓特大

D6
ト30
1

〔大〕〔唐張蘊古〕撰〔朝鮮李滉〕書、〔梅〕〔朝鮮李滉〕撰并書

〔朝鮮後期〕刊

韓国国立中央図書館に各單行本あり、同版式別版。

〔戸原東作所用印〕

和

戸原
131
1

〔明治〕製作

和

戸原
131
1

全一三顆。1戸原大復（側款「明治丁亥孟冬于自彊堂南牕」「方涯法鍊」）、2戸原大復・年卿（両面印）、3戸原之印、4大復（陶印）、5大復（帶印）、6春秋學士（側款「辛巳夏日篆于友石山房香邨生」）、7望海樓印（銅印）、8山澤之癯、9五年真作（側款「丙午秋日為戸原先生秀寶術刻」）、10戸（？）古處、11世外人、12呼（？）鳥和手、13劉氏雨（？）書之印 *戸原純一氏寄贈

北条霞亭印譜（外）

和中

B1
ト173
1

〔北条〕霞亭撰 堀口甚吉編 昭和三五年（一九六〇）四月印（堀口甚吉）

大和綴、原鈴本。昭和三五年四月一五日付阿部隆一宛堀口甚吉書簡（封筒なし）を付す。

笙舞相傳留（外）

和半

B1
ト180
1

092
ト156
1

林廣好・同廣範・〔同廣繼〕編 文政一二年（一八二八）三月至明治三年（一九〇二）七月写（各自筆）

文政一一年一二月まで林廣好、安政六年（一八五九）六月まで廣範、以後は廣繼か。紙縫綴、貼紙訂正あり、下敷挿入あり。

古樂図（追加附入）（外）

和大

ヒ D3
ト3
1

闕名者編

明治二二年（一八八九）五月写（松園）

卷子本、〔信西古樂図〕摸本、黒川真道藏本転写。印記：平岡連文庫印、平岡家寄贈圖書之印昭和三十三年十一月

興福寺延年舞式 同図 延年連事（外）

和大

773
ト2
1

闕名者撰

〔大正二年（一九一三）〕四月写（野村八良）

上眞行藏本（寛政元年〔橋本〕経亮写本を同年〔藤〕貞幹転写、それを同五年静斎影写）を影写、明治一七年林廣継藏本および近世文藝叢書所載本との校異を青字頭注書入。外題「同図」とあるが図なし。＊久保田淳氏寄贈

八 語学

和大

811
ト7
1

倭語連聲集

枳盛典撰

元文二年（一七三七）正月刊（京・中野宗左衛門、大坂・淺野彌兵衛）

識語：祐雄之、一九八七年一二月〔亀井〕孝取得識語および書人、印記：Kikuchi藏（緑印、亀井孝）

和字正濫要略

和半

811
ト8
2

枳契沖撰

文化一一年（一八一四）九月写（源一暉）

明和六年〔松平〕（源）義亮書写本の転写。義亮による荷田在満・松岡浚明校注書入も転写されている。表紙に
蔵書票あり、印記：渡邊千秋蔵書

雅言類解（外）存卷一

闕名者編

〔幕末〕写（一筆）

あ部のみ存、版本『詞葉新雅』『源語梯』および写本の雅語辞書を切り貼りしたもの。表紙右に別筆「棟齋書」、
裏表紙見返に「十一月十七日 晋卿／蘭軒先生」と云ふ本文次の伊澤蘭軒宛菅茶山書簡貼付。

書面俗解〔六〕卷存卷二

和半

092
ト139
1

〔神原篁洲〕撰

〔貞享〕一年（一六八五）正月刊

和半

813
ト33
1

和漢音釋書〔和子考〕 Wa kan won seki sio gen zi ko, Thesaurus linguae Japonicae, sive illustratio omnium quae
libris recepta sunt verborum ac dictiomnum loquela tam Japonicae quam siensis addita synonymarum literarum
ideographicarum copia.

D1
ト33
1

檍〔島昭武〕（郁、Makinosima Terutake）譯 Siebold, Ph (ilipp) Fr (anz) von, 編 Hoffmann, J (ohann
Joseph)、清郭成章 Ko Tsching Dschang 編集補助 一八四一（天保一一年）刊 (Lugduni Batavorum (ルーベルム))
: Officina editoris (編者)

Bibliotheca Japonica (日本叢書) の1垂、原文部分石版刷。

發字便覽

和半

813
ト33
1

冢田大峰・雄風館塾編

寛政六年（一七九四）一〇月刊（江戸・嵩山房小林新兵衛）

刊記に「彫工 宮田六左衛門 鍛」とあり。識語・朝隱居藏

助語・番象三卷存卷中下

和中

813
ト31
2

三宅橋園撰 祢海定・三上惇・宮永寅録 文化一四年（一八一七）一一月刊（京・菱屋孫兵衛等六肆）

「皇都書肆五車樓藏版略書目」を付す。印記・鈴木印

〈頭書増訂〉國史畧字引（見返）

和中

813
ト31
1

宇喜多小十郎編

明治八年（一八七五）八月刊（京都・斯文堂細川清助等四肆）

見返に「京都 四友樓合梓」とあり。また編者名見返は「浮田小十郎」とあり。虫損多し。印記・平政（二種）

雅俗漢語譯解二卷

和中

813
ト28
2

市川清流編

明治二年（一八七八）一〇月刊（東京・從吾所好齋（編者）蔵版）

『国書総目録』文政元年版を著録するが、自序「戊寅」を一回り前と誤認したか（東北大狩野に上巻のみ存とする）。

印記・岩村成允

〈篆文詳註〉日本大玉篇二二卷

和中

813
ト29
3

石川鴻齋編 山本觀海校

明治二四年（一八九二）一一月刊（東京・博文館）

薄葉銅版（口絵石版）、康熙綴、外題角書「増訂」、刊記には明治二〇年五月刊本の版権譲受再版とする。

畫引小説字彙

和小

D2
ト126
1

秋水園主人編 〔寛政三年（一七九一）刊、弘化三年（一八四六）七月印（大坂・秋田屋太右衛門等七肆）〕

虫損、印記・□□藏書（朱塗抹）

十八史略字引

和特小

西野古海編

明治一〇年（一八七七）一一月刊（東京・水野慶次郎）

銅版。上欄に部首を朱書き入。

音韻學通論八卷欠卷一至三

唐大縱長

民国馬宗霍撰

民国二二年（一九三三）五月刊（上海・商務印書館）

國難後第一版（影印民国二〇年鉛印本）、石印。上冊を欠く。

磨光韻鏡（外）二卷

和大

积文雄撰

天明七年（一七八七）五月刊、後印（大坂・柏原屋清右衛門）

延享元年（一七四四）八月刊本に修正を加え覆刻。（上冊）本圖、（下冊）韻鏡索隱、翻切門法より成る。朱墨書入りあり、表紙朱書「暑」、印記・高觀之印、嚴堂臧書、平岡連文庫印、平岡家寄贈圖書之印昭和三十三年十一月

又 存卷下

和大

下冊のみ存。朱墨書入多し。

*藤山工業図書館移管本

漢吳音圖（序）三卷

和大

太田「全齋」（方）撰

文化一二年（一八一五）五月序刊、後修

第二次修訂本。圖徵・漢吳音徵・漢吳音圖說各一卷より成る。明治二四年黒川真頼手沢本対校および明治二七年岡本保孝手沢本対校識語（佐藤利文）あり、印記・佐藤仁之助藏書、帙外題・漢吳音圖（後版）

B1
ト175
3

821
ト15
1

821
ト1
2

821
ト14
2

D2
ト124
1

爾雅（正文）

深河龍（光彦）編

安永八年（一七七九）三月刊（京・菱屋治兵衛等四肆、泉亭藏）

見返・序題「爾雅正文」。訓点・頭注あり。部分裏打補修あり

六書分類（一二）卷存卷七至一

清傳世姦編

傅世磊校 周天辰補校 〔康熙四四年（一七〇五）序〕刊（寶仁堂）

版心「聽松閣」、料紙白紙・竹紙混用。早稻田大学図書館本と同版。印記・竹中、存齋圖書記

韻雅

和特小

藤澤南岳編

明治四〇年（一九〇七）刊（大阪・鹿田靜七）

本文銅版、前付後付活版、六つ目綴。

九 文学

和歌三式（外）（和歌作式・歌經標式・和歌式）

闕名者編、伝釈喜撰・藤原濱成・伝孫姫撰 〔江戸中期〕写（一筆）

和歌作式は甲本系、歌經標式は抄本甲に近いが独自部分あり。後二者に長禄四年正月円雅および寛正四年一〇月
橘業文本奥書あり（ただし和歌式は業文署名部分を欠く）。冊末に本居宣長落款花押を妄補。歌經標式に昭和一
四年五月片寄正義による佐々木本との校合朱書入あり。印記・片寄藏書、片寄

奥義抄三卷存卷上

和半

911
ト137
1

911
ト138
1

和大

823
ト30
1

D2
ト117
1

823
ト29
5

〔藤原清輔〕撰〔江戸中期〕写（一筆）

卷上のうち「廿三盜古哥證哥」以下を上之末とする。版本写しか。表紙右下に「共四」と墨書あり。印記…雀舎、忍・城南文庫

〔和歌六部抄〕

〔細川幽斎〕編

〔江戸前期〕写（一筆）

外題「六哥抄」。近代秀歌、正風躰抄、京極黄門庭訓抄（毎月抄、建武四年・文明九年・同一七年本奥書）、八雲口傳（号詠歌一躰）（著者奥書）、四條房口傳（号阿佛）（夜の鶴、自筆本を書写した旨の本奥書）、近来風躰（著者奥書）から成る。末尾に天正一九年一二月玄旨本奥書あり。印記…（四つ芋柏文）

竹園抄

伝〔藤原〕為顕撰

〔江戸後期〕写（一筆）

目録なし。見返に「龍田大明神御託宣二云」云々とあり。識語…養照寺、印記…村井氏臧書（村井順）

近來風躰

〔二条良基〕撰

〔江戸中期〕写（一筆）

嘉慶元年一月著者奥書あり。朱合点、墨訂正等あり。識語…蓮庵五巻之内、印記…中屋、二山艸堂（他に墨陽刻長方印切り取りあり）

耕雲口傳

耕雲撰

〔江戸中期〕写（一筆）

和中

911
ト125
1

和中

911
ト139
1

和半

911
ト141
1

和大

911
ト124
1

版本の写しか、別筆朱訂あり。印記：桑（？）原、役（？）齋 *久保田淳氏寄贈
ならの葉

和大

B1
ト 207
1

〔飛鳥井雅親〕（榮雅）撰 〔江戸前期〕写（〔飛鳥井雅章〕）

五つ目綴、本奥書「右此書者從將軍家御尋飛鳥井雅親／被註進之尤秘説也不可有他見而已／臘月上旬」。伝二条
家旧蔵（挿入の浅倉屋書店掛札に記す）。*久保田淳氏寄贈

玄旨法印聞書（外）

和大

911
ト 126
1

〔細川〕幽齋撰、佐方宗佐錄并補 〔江戸前期〕写（一筆）

全四〇条のあと「以下私」として増補あり、ただしその末尾に「十歳之童子送是更不為好士／桑門玄旨法印」とあり。

本文中同筆頭注あり。表紙右上ラベルにペン書「一／五二／五」、印記：渡邊氏祖先之遺書 *久保田淳氏寄贈
哥林雜話集二巻（外「戴恩記」）

和半

911
ト 132
2

〔松永〕貞徳撰 〔江戸後期〕写（一筆）

紙綻綴、元禄一五年刊本の写し。下冊表紙に「TOKYO.GANSHODOSHOTEN」名入り円形シール貼付。*久

保田淳氏寄贈

和半

911
ト 123
1

歌道簡守三巻

〔山崎闇斎〕（垂加靈社）編 玉木正英錄 〔江戸後期〕写（一筆）

初重・二重・三重之巻各冊合冊紙綻綴、ただし二重・初重・三重の順。編者名は、本書を玉木正英に伝授した旨
記す「正親町」公通の識語による。

古今和歌集作者譜

源貞固撰

〔江戸後期〕写（一筆）

和大

911
ト120
1

外題「古今集作者考」、朱青墨訂正追加書入。印記・中根善次郎重成藏、董園藏

和歌名所追考二四卷

〔高野直重〕撰

〔江戸前期〕写（〔里村昌琢〕）

和大

091
ト399
5

山城国のみ。版本より記事多し。別筆書入および貼付挿入紙片あり。能勢規識語（第一冊前遊紙に明治初年矢倉家より譲渡された旨記す）、壽福海山堂所蔵識語（第二冊のみ）、昭和二三年五月大谷仁兵衛所蔵識語（玄遠莊用

箋墨書、第五冊末に貼付）、印記・能勢文庫、■拾■（第一・三字は手偏に合+幸、第四字は手偏に巳+口）（サムハラ） *久保田淳氏寄贈

菅まくら

〔河瀬〕菅雄（醉露堂）編

〔江戸中期〕写（〔白筆〕）

和大

B1
ト193
8

楮打紙濃墨、一首一行書、目録朱注記あり。書名表記、他に「すかまくら」「すか枕」あり。 *久保田淳氏寄贈

二八明題和歌集八卷

和半

〔江戸中期〕写（一筆）

和大

B1
ト193
8

列帖装、料紙鳥の子紙、一首一行書。印記・閻魔庵圖書部、岡本藏書、岡本画（閻魔像）（以上岡本閻魔庵）、大和田印 *久保田淳氏寄贈

同 存夏

和大

B1
ト194
1

闕名者編

〔江戸初期〕写（一筆）

紙縫綴（ただし綴糸残存）、料紙楮打紙、長享二年（一四八八）六月一六日〔山科〕言國本奥書あり。印記・康

章圖書 *久保田淳氏寄贈

古葉畧類聚鈔 存卷名未詳卷

闕名者編

〔明治〕写（一筆）

上欄に万葉集所収卷数表示あり、その下に朱にて張数表示、文化二年刊本のものか。

檜山拾葉七卷目一卷

石川清民編

寛文二年（一六七一）三月刊（京・山本景正）

和大

911
ト122
1

911
ト133
8

092
ト154
1

092
ト154
1

刊記に「山本春正寫」とあり。朱書入（寛永版の張数等）多し。印記・荷田氏珍藏、西莊文庫（第一冊表紙貼付

紙片墨書「花廿五（全八）」、屯倉氏藏書（代緒色）、小汀氏藏書、岡田眞之藏書 *久保田淳氏寄贈

古今和歌集二〇卷存卷十一至十五

和半

〔紀友則等〕奉勅編

〔鎌倉末期〕写（伝小倉公脩）

列帖装、料紙楮打紙、飛鳥井雅経筆本系統、和歌一首二行書、別筆校合書入、朱声点あり。表紙貼紙墨書「小倉
殿公脩／ハシタ本用ニ不立〔〕無手内五分と」朱書「にノ五十四番」、印記・川上藏書 斯道文庫論集第三三
輯に解題翻刻あり。

古今集極秘傳受

和大

闕名者撰

〔江戸後期〕写（永井隆愛）

911
ト140
1

和歌三神之事から小野小町之事まで七ヶ条を收める。

古今和歌灌頂卷

闕名者撰

寛永二年(正保元年)一六四四三月写(一筆)

和大

B1
ト 185
1

冒頭「古今和譜秘傳曲文父母之大事」、本奥書「元亨三年七月二十日冷泉中納言藤原朝臣在判」あり、石上秀美氏分類第三類第一系宮内庁書陵部C本と同内容。五つ目綴

後拾遺集抄出 金葉抄出 詞花集抄出 千載集抄出

闕名者撰

〔江戸前期〕写（一筆）

和大

B1
ト 203
1

〔公任家集〕（外）

〔藤原公任〕撰

〔江戸初期〕写（一筆）

和大

091
ト 404
1

外題なし、書名はそれぞれの内題による。料紙楮打紙。抄出歌に注釈を付す。別筆朱訂正注記あり。

〔江戸初期〕写（一筆）

一首一行書、集付・異文注記あり。いわゆる流布本系・異本系統それぞれの独自歌を共に含むが、前者独自歌には抹消符を付す。字母・注記等榊原本・松平文庫本に似る。外題墨書剥落甚だしいが、「公任家集」と判読され、これも榊原本と共に通する。印記・八雲軒、藤亭、安元（いずれも緑印、脇坂安元）、落合氏藏（落合直文）＊久

散木集註

〔江戸後期〕写(一筆)

和半

911
ト 131
1

書陵部 558-92
(孝明天皇旧藏) と同写式。
印記・書肆慶雲堂記、政毅(連印)、阿良為氏、兼子臧書、支子園凶

書記 *久保田淳氏寄贈

〔定家十体抜書色紙〕

〔藤原定家〕編

金泥下絵色紙一〇枚および筆者名を記す折紙一枚から成る。折紙に「櫛笥左衛門督隆望朝臣」とある櫛笥隆望は明和元年八月八日正四位上任参議兼左衛門督、二年六月二八日叙従三位、したがつて明和元年至二年の制作と推定される。帙に「弘化二巳年／五月吉日／金廻屋磐蔭」墨書紙片貼付。*久保田淳氏寄贈

小倉山庄色紙和歌

〔伝藤原定家〕編

〔室町末期〕写〔慶福院玉栄〕

列帖装、虫損・水損のため袋綴同様の糸綴に変更。詞書あり。末尾紙片挿入「をくら百首／近衛種家公息女／慶福」□□正筆／題特月院宗時卿。*久保田淳氏寄贈

〔百人一首注〕

和大

闕名者撰

〔室町末近世初〕写〔一筆〕

宗祇抄に近い内容。源兼昌歌を欠くが、末尾に小大君「大ゐ川そま山風の」を追加（ただし注なし）。冊末「淨信（花押）」識語妄補。墨注記書入および後遊紙に雜俳（前句附、冠附）を記す。共に「江戸後期」写。識語..上武士邑良智（良智の二字、「昌□房」に上書）

夫木和歌抄三六卷目一卷

和大

藤原長清編

〔江戸前期〕写〔寄合書〕

B1
ト214
22

091
ト413
1

B1
ト210
1

B1
ト196
1

和

原三六冊を合冊。第一冊が目・卷一・二、以下卷九、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十七、三十四を除き二卷ずつ合冊。第二三冊末に別本から転写した跋文あり。印記・島原秘藏（各冊首尾）、他に各冊末に切り取り跡あり（松平忠房所用印か）。*久保田淳氏寄贈

〔宝治百首〕

和中

092
ト143
1

後嵯峨院詠

〔鎌倉末〕写（伝二条為藤）

冊子（列帖装カ）改装卷子本、料紙鳥の子紙、別筆集付あり、内題「詠百首和歌」、同下部に別筆にて「後嵯峨院御製ナリ」。箱蓋表「二條家為藤卿（百首）卷物」「内極札（？）有」貼紙あり。

延文御百首（目）

和大

091
ト398
3

後光嚴天皇他詠

〔室町中期〕写（寄合書）

料紙楮紙、紙綴ぐるみ表紙、非部類本、作者名脇に懷紙寸法注記あり。墨訂正注記あり、第二冊末元和五年（一六一九）八月校合識語あり。印記・押小路文庫、賓南（陰陽二種）、残花書屋、戸川氏藏書記（以上四顆戸川浜雄）、第二冊前見返に久遠宮家令小藤孝之宛押小路実潔書簡封筒貼付。*久保田淳氏寄贈

延文御百首（目）

和半

B1
ト195
1

後光嚴天皇他詠

〔江戸初期〕写（一筆）

料紙薄葉、部類本、末尾に懷紙寸法一覧あり。*久保田淳氏寄贈

和大

911
ト128
1

自讃哥註二卷

寛永一三年（一六三六）五月刊（京）中野道也

宗祇撰

合冊。印記：富（？）（孟型黒陽刻印）、多度津岡田氏藏書印 *久保田淳氏寄贈

自讃哥〔注〕

和半

兼載撰

大永二年（一五二二）一〇月写（伝賀茂鳥大路在理）

列帖装、延徳四年兼載本奥書あり、書写奥書は落款なし、内藤内蔵助筆本の転写である旨記す。筆者名は〔末田〕幽碩の丁丑（元禄一〇年＝一六九七）極札による。*久保田淳氏寄贈

百詠和歌一二卷

和大

源光行撰〔江戸前期〕写（一筆）

別筆墨書訓点、朱書校異（無注本との異同）等書人あり。*久保田淳氏寄贈

拾遺愚草三卷欠巻上

和半

〔藤原定家〕撰〔室町後期〕写（伝土御門有春）

列帖装、料紙斐紙、表紙脱落見返存、巻下述懷末尾244-67を欠く。巻下裏見返裏墨書「拾遺愚草全三冊／土御門殿有春卿筆／本多伯耆守様御用／元禄十六年（未）三月廿五日／御経司桜井左近／同 市兵衛／修覆」

草根集七卷欠巻一

和半

正徹撰〔江戸前期〕写（一筆）

列帖装、四季各一巻、恋一巻、雜一巻から成る部類本。巻二夏欠。歌頭に日次本巻次注記 *久保田淳氏寄贈

称名院殿詠歌（奥書）〔二巻〕存〔下巻〕

和大

〔三条西公条〕撰元禄一二年（一六九九）九月写（一筆）

911
ト135
1

B1
ト213
6

092
ト155
2

B1
ト212
2

091
ト408
1

部類のみの系統本（私家集大成・公条Ⅱ）の793番歌以下を存す。元禄一年（一六九八）正月〔田村〕建顯本 奥書（中院黄門家本を転写した旨記す）、同二年九月〔伊達〕吉村令写奥書（二巻本である旨記す）あり。印記・壁（朱陰刻菱形）、伊達伯觀瀾閣圖書記

〔女房恋百人一首〕

〔飛鳥井〕雅章編

〔江戸前期〕写（自筆）

安嘉門院四条以下賀茂保憲女に至る100人の女房歌人の恋歌を集めたもの。一首ずつ記した料紙を台紙貼する。裏見返に元禄三年（一六九〇）七月〔飛鳥井〕雅豊加証識語あり。久保田淳『中世和歌史の研究』（明治書院、一九九三）に翻刻あり。書名はそれに従う。*久保田淳氏寄贈

御着到和歌集（外）

和半

911
ト136
1

〔江戸中期〕写（自筆）

宝永二年（一七〇五）九月九日至一月十九日仙洞御所着到百首。一五名の作品を部類、冒頭に作者一覧あり。

*久保田淳氏寄贈

禁中御張付色紙形詠歌

二言抄 落書露顕書抜 源語秘訣 和大

911
ト121
1

（禁）閑院〔宮〕典仁親王等詠、（二・落）今川了俊撰、（源）〔二条兼良〕撰〔江戸後期〕写（二筆）

（禁）、（二・落）、（源）の三冊紙綴綴合綴、前二者薄葉料紙。（源）ルビ詳密、天正一〇年（一五八二）〔細川〕

藤孝本奥書あり。（禁）は寛政度新造内裏のもの。（二・落）印記・守田文庫（瓢箪型）、字曰子詮

秀雅百人一首（外）

和中

911
ト134
1

綠亭川柳編 〔葛飾〕 北齋等画 弘化五年 (嘉永元年＝一八四八) 正月刊 (江戸・錦耕堂山口屋藤兵衛)

序・口絵多色刷厚手料紙。裏見返に大坂・江戸一三書肆連名刊記あり。識語・剛志村大字上武士／小泉五平 (現群馬県伊勢崎市境)

三十六人歌合 新三十六人歌合 中古三十六人謡合 女房三十六人歌合 和枡

092
ト147
1

藤原公任等撰

〔江戸前期〕写 (一筆)

綴葉装、錯簡有り。同表紙の石清水若宮歌合と同箱。

内大臣家歌合 (元永元年十月二日) 廣田社歌合

和中

911
ト143
1

(内) 摂津等詠 〔源〕俊頼・〔藤原〕基俊判、〔廣〕藤原公通等詠 藤原俊成判

〔江戸後期〕写 (一筆)

(内) 寛文六年 (一六六六) 八月および貞享三年 (一六八六) 一〇月拳卓軒本奥書あり、題は時雨・残菊・恋の順。

(廣) 判者奥書あり。

新宮撰謡合 貞永元八月十五夜謡合 京極黄門定家卿鷹問答 (小倉問答) 和中

911
ト143
1

〔新〕源通光等詠 积阿 (藤原俊成) 判、〔貞〕女房 (後堀河院) 等詠 藤原定家判、〔京〕伝 (藤原) 為家問・〔藤原〕定家答

〔江戸後期〕写 (一筆)

(新) 寛永一五年 (一六三八) 正月藤原 (烏丸) 資慶、貞享三年 (一六八六) 一〇月本奥書あり。(貞) 弘治元年 (一五五五) 二月および貞享三年九月拳卓軒本奥書あり。祐徳稻荷中川文庫本と同系統か。(京) 年月不記本奥書あり。

石清水若宮歌合 寛喜四年三月廿五日 和枡

092
ト148
1

藤原定家等詠 藤原定家判

〔江戸前期〕写 (一筆)

綴葉装。同表紙の三十六人歌合他と同箱。

文安詩歌合附文明短冊

和半

〔西園寺〕公名等詠 〔一條〕兼良判 元禄一七年（宝永元年＝一七〇四）正月刊（江戸・燕雀堂〔平野屋吉兵衛〕）
挿絵入、銀泥下絵表紙。附は文明中応制詩歌の歌のみ。部分裏打、下冊末「戊申八月初七城崎藻泉行所獲 承（？）
高題」識語あり。印記・〔但州湯元〕温泉寺

〔豊原統秋〕五十番〔自〕歌合

和舛

〔豊原統秋〕詠 〔三条西実隆〕判 〔江戸前期〕写（二筆）

明応九年（一五〇〇）判者（実隆）跋あり。新補表紙、全面裏打。

菟玖波集二〇卷附作者部類

和横中

〔二条良基〕編（附）西山宗春編 享保四年（一七一九）五月写（磯野顯貞）

転写西山宗春・昌察藏本、第二類本。*久保田淳氏寄贈

連歌初心抄

和小

了意撰 正保二年（一六四五）六月刊

見返に双叟および柳水亭乙船発句書入。印記・賞（？）

朗詠〈九十首抄〉（目）

和大

〔伝藤原忠実、同宗能〕編 〔近代〕写（野村八良）

紙綴綴、天保一四年（一八四三）二月翁好古写本（転写文安五年（一四四八）源有偈写本）の転写、冒頭に本文

911
ト130
1

D2
ト130
1

B1
ト191
4

B1
ト188
1

911
ト119
2

第一張のみ影写し、全体は節博士を省略。袋川（野村八良）頭注あり。なお浜野文庫蔵影写泊（（奥））好古写本（38B/4/1）の付箋に「好古ハ宮内省伶人奥好壽ノ祖父ナリ大正元年十月廿一日」とあり。＊久保田淳氏寄贈

小袖曾我（見返）

和半 091ト4011

闕名者撰 〔室町末近世初〕写（一筆）

四周单辺有界一〇行薄墨界、本文は版本系、巻末別筆にて「右四らう（？）八様筆之乘（？）也」。弘文莊待賈古書目第三二号（昭和三三年三月）九三番著録本。印記・横山藏書（横山重）

蟹 井筒 鵜飼 俊寛 舟弁慶（外）

和半

〔世阿弥〕等撰 〔江戸初期〕刊

古活字版、光悦謡本袋綴並製本合冊。表章『鴻山文庫本の研究 謡本の部』所収〈舟弁慶〉図版にて比較すると甲乙丙いすれとも異なる植字。ノドウラ中央に曲名および張付あり。外題は後補中央題簽に墨書。鵜飼に五カ所貼り紙訂正、俊寛に多数朱墨書入（詞章節付訂正、語注等）。印記・鐸屋（黒陽小判型、裏見返左下隅）

〔金剛流謡本〕

和半

〔世阿弥〕等撰 天明三年（一七八三）九月至一月写（藤巻新左衛門頼英）

（冊次は内容・書写年時によつて仮に定めた）第一冊・高砂、老松、難波、弓八幡、蟻通、第二冊・芭蕉、松風、熊野、野宮、源氏供娘、第三冊・白鬚、敦盛、西行桜、是我意、藤栄。墨節付に一部朱節付を加える。不審紙あり。第一・三冊奥書に吉田某のために書写した旨記す。印記・吉田藏書

〔伊勢物語〕闕疑抄五巻存巻三至五

和半

B1ト2043

B1ト1983

〔細川〕幽斎撰

〔江戸前期〕写（一筆）

列帖装、料紙斐紙、文禄五年（慶長元年）一五九六）法印玄旨（幽斎）、慶長二年也足叟素然（中院通勝）本奥書。
印記・勸修寺、三井家（朱陽長方、北魏風楷書太字）

〔宇津保物語考〕

和大

〔桑原 やよ子〕撰

〔江戸後期〕写（一筆）

外題「うつほの名よせ」、朱訂字あり、原本系。印記・椎本文庫、（獅子像）、□龍岡

源氏物語五四巻附山路（の露）・系圖・源氏物語引哥・源氏爪印七巻 欠若紫・未摘花・東屋 和小

913
ト28

紫式部撰（附）闕名者編 〔江戸前期〕刊（〔京〕吉田四郎右衛門・中野小左衛門）

挿絵入、薄葉刷、無刊記版小本丁本（吉田幸一『絵入本源氏物語考』による分類）。湖月抄力抄出書入、朱校合書人（空蟬以下飛び飛びに巻末元亀三年至天正五年校合識語、花宴巻末に「称名院御本ニ肖柏御筆／京極黄門（定家卿）以自筆校合畢」とあり）

山下水

和横中

B2
ト4
22

〔三条西実枝〕撰 延享四年（一七四七）四月写（一筆）

桐壺・帚木・空蟬・夕顔・若紫・未摘花・紅葉賀・花宴・初音・胡蝶・蛻・常夏・篝火・野分・若菜上・若菜下・

夕霧・御法・幻・匂宮・紅梅・竹河あり、桐壺二冊、常夏至野分一冊。宮内庁書陵部藏中院通村筆本の転写本、

烏丸光栄が令写校合の旨を記した「山下水來由」、光雄筆を転写した目録を付す。松原志伸「麻生家本『山下水』の書誌的報告」（『三田国文』二八、一九九八・九）参照。 *麻生泰氏寄託

09A
132
1

〔小夜衣〕 三卷存上

闕名者撰

〔江戸前期〕 写（一筆）

和柄

091
ト400
1

綵葉装、無表紙。料紙斐紙、一部布目型押料紙を用いる。

西行四季物語四卷

闕名者撰

〔元禄四年（一六九一）五月刊〕 宝永五年（一七〇八）正月印（京・林正五郎）

明応九年（一五〇〇）槐下桑門（三条公敦）本奥書あり、海田采女佑源相保画・本人筆の旨記す。挿絵あり。

同年月刊記で版元が河南四郎右衛門のものは後印本 *久保田淳氏寄贈

沙石集一〇卷

和大

913
ト60
10

綵無住撰

〔貞享三年（一六八六）閏三月刊〕（京・小嶋彌三右衛門）

識語「合十冊／明治四十五年一月日／寄附人／当宿 笛木熊虎」 *久保田淳氏寄贈

十訓抄二二卷

和半

913
ト59
5

闕名者撰

〔享保六年（一七二二）四月刊、寛延四年（一七五二）五月印（大坂・田原平兵衛）

卷数は版心表示による。印記・袋川文庫（野村八良） *久保田淳氏寄贈

ほうけん（保元物語三卷）存卷二

和大

091
ト410
1

闕名者撰

〔室町末期〕 写（一筆）

金刀本系か。末尾数行欠。弘文荘待賈古書目第二六号（昭和三一年三月）第九五番所載。印記・岡田眞之藏書

*久保田淳氏寄贈

和半

913
ト83
2

保元物語三巻

闕名者撰

かな交じり本。金刀本系か。

*久保田淳氏寄贈

〔室町後期〕写（一筆）

和半

平治物語三巻

闕名者撰

京図本系か。冒頭に平氏略系図を載せる。表紙押八双あり。各冊裏見返識語切り取り。印記・位敦、考

*久保

〔江戸前期〕写（一筆）

和大

平家物語（一二巻）存巻九

闕名者撰

慶長一〇年（一六〇五）五月写（雲峯盛□）

四部合戦状本に類似。紙縫綴、カナ交じり、朱句点朱引、墨返点フリガナ。書写奥書「于時慶長拾年（乙巳）

五月念六烏／尾陽住雲峯盛□書焉」

和半

承久記二巻

闕名者撰

〔江戸初期〕刊

和大

覆古活字版第三種。印記・英中之印、延近唯介 *久保田淳氏寄贈

異本源藏人物語

闕名者撰

〔室町末近世初〕写（一筆）

和大

〔高野辰之〕旧藏。『室町時代物語大成』底本。 *松本隆信氏寄贈

091
ト376
1

913
ト58
2

091
ト396
1

091
ト409
3

091
ト411
3

月日の御本地

闕名者撰

和半

091
ト377
1

〔江戸初期〕刊

丹緑本。慶応二年（一八六六）取得識語（槐尚園）、印記：福田文庫、坂東藏書、緑漪書屋、アカキ、よこ山、重（以上三顆横山重） 帚に〔横山重〕メモ貼付、横山重宛反町茂雄書簡を付す。*松本隆信氏寄贈

あかし物がたり

闕名者撰

和半

091
ト378
2

〔江戸初期〕刊

挿絵入。印記：月明莊、アカキ、よこ山、重（以上三顆横山重） 帚に〔横山重〕メモ貼付。*松本隆信氏寄贈

すみそめさくら

闕名者撰

和大

091
ト379
2

承応二年（一六五三）二月刊（〔京〕）

藤屋次郎左衛門・木曾や次郎兵衛

印記：アカキ、よこ山（横山重） 帚に〔横山重〕メモ貼付、〔松本隆信〕メモを付す。*松本隆信氏寄贈

同

和半

091
ト380
2

闕名者撰

寛文三年（一六六五）四月刊（〔京〕）度々市兵衛（）

覆承応二年刊本、丹緑本。印記：月明莊、アカキ〔横山重〕メモを付すほか、元禄五年度々清兵衛刊本刊記部

分切り抜き貼付。*松本隆信氏寄贈

あさがほのつゆ二巻

和半

091
ト403
1

闕名者撰

明暦四年（万治元年＝一六五八）九月刊（〔京〕）山田市郎兵衛（）

化粧裁ち改装合本、挿絵あり、『室町時代物語集』第三に果園文庫蔵本として著録。表紙朱書「す百七十四」、貼

紙墨書「明暦四年／印本」、印記・壽（題簽・貼紙にあり、朱陽長方）、兎角菴（小田果園）、岡田眞之藏書

佛鬼軍（見返）

和大

伝釈一休（宗純）撰画

文政六年（一八二三）八月跋刊（江戸・萬笈堂英平吉）

「喜多村」筠庭跋には「一古家秘藏摹本」を「英遵」（平吉）が入手したことを記す。印記・江邨氏圖書、たか□

き（後者「佛八／一冊」と記すラベルに押捺する）＊久保田淳氏寄贈

ト64
1

〈江戸時代〉戯曲小説通志二編

和半

雙木園主人（堀捨二郎）撰

明治二七年（一八九四）八月刊（東京・誠之堂書店）

活版、前後二編各二冊。

ト63
1

森株木三階奇談（序）三卷

和中

曲亭馬琴撰「北尾重政」画

享和四年（文化元年＝一八〇四）正月序刊（明治三七年（一九〇四）印（大阪・鹿田静七））

鹿田静七

ト62
1

黄表紙四十種の一（印行年は『増補青本年表』による。以下同）。本書鹿田の刊記あり。印記・藤山白金文庫

＊藤山工業図書館移管本。

實語教稚講釈（外）三卷

和中

ト63
1

山東京傳撰「勝川」春朗画 寛政四年（一七九二）春序刊（明治三七年（一九〇四）印（大阪・鹿田静七））

黄表紙四十種の一。水損あり。印記・藤山白金文庫＊藤山工業図書館移管本

悪七變目景清（外）二卷

和中

ト64
1

913
ト64
1

〔山東京傳〕〔山ひがし京傳〕撰 〔北尾政演〕〔まさのぶ〕画 〔天明六年（一七八六）刊、明治三七年（一九〇四）印（〔大阪・鹿田靜七〕）

黄表紙四十種の一。水損あり。印記・藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本 和中

早業七人前（外）三卷

山東京傳撰 〔北尾重政〕画 享和二年（一八〇一）正月序刊〔明治三七年（一九〇四）〕印（〔大阪・鹿田靜七〕）

黄表紙四十種の一。印記・藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本。

早道御守傳來（外）三卷

山東京傳撰 〔北尾政演〕画 〔寛政元年（一七八九）刊、明治三七年（一九〇四）〕印（〔大阪・鹿田靜七〕）

黄表紙四十種の一。初め「早道節用守」はやみちやうようのまもりと題す。印記・藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本。

貧福道中記（外）三卷

和中

913
ト66
1

山東京傳撰 〔勝川〕春朗画 寛政五年（一七九三）正月序刊〔明治三七年（一九〇四）〕印（〔大阪・鹿田靜七〕）

黄表紙四十種の一。初め「貧福両道中之記」と題す。印記・藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本。

小野篁地獄往來（外）三卷

和中

913
ト68
1

〔山東〕京傳撰 〔北尾〕政演画 〔寛政二年（一七九〇）刊、明治三七年（一九〇四）〕印（〔大阪・鹿田靜七〕）

黄表紙四十種の一。初め「地獄一面」じごくいつらわん照子淨頗梨かぶすじょうぱりと題す。刊年は『黄表紙総覧』による。印記・藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本。

洒落見絵圖（外・序）三卷

和中

913
ト69
1

913
ト65
1

山東京傳撰〔北尾政演〕（菊亭主人）画〔寛政三年（一七九二）春刊、明治三七年（一九〇四）〕印〔（大阪・鹿田靜七）〕

黄表紙四十種の一。初め「世上洒落見絵図」と題す。印記・藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本。

曲亭一風京傳張（外）三卷

和中 913 ト 70 1

曲亭馬琴撰〔北尾重政〕画 享和元年（一八〇二）正月序刊〔明治三七年（一九〇四）〕印〔（大阪・鹿田靜七）〕

黄表紙四十種の一。印記・藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本。

鼻下長生藥（序）三卷

和中 913 ト 71 1

曲亭馬琴撰〔北尾重政〕画 寛政一〇年（一七九八）刊〔明治三七年（一九〇四）〕印〔（大阪・鹿田靜七）〕

黄表紙四十種の一。印記・藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本。

楠正成軍慮智輪（序）三卷

和中 913 ト 73 1

曲亭馬琴撰〔北尾重政〕画 寛政九年（一七九七）春序刊〔明治三七年（一九〇四）〕印〔（大阪・鹿田靜七）〕

黄表紙四十種の一。印記・藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本。

胴人形肢體機關（外）三卷

和中 913 ト 74 1

曲亭馬琴撰〔北尾重政〕画 寛政二年（一八〇〇）正月序刊〔明治三七年（一九〇四）〕印〔（大阪・鹿田靜七）〕

黄表紙四十種の一。印記・藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本。

御茶漬十二因縁（外）三卷

和中 913 ト 74 1

曲亭馬琴撰〔北尾重政〕画 寛政一〇年（一七九八）春序刊〔明治三七年（一九〇四）〕印〔（大阪・鹿田靜七）〕

黄表紙四十種の一。初め「大雜書抜萃縁組」と題す。印記・藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本。

備前播益一代記（外）三卷

和中

913
ト75
1

曲亭馬琴撰 「北尾重政」画 寛政二二年（一八〇〇）正月序刊〔明治三七年（一九〇四）〕印（大阪・鹿田静七）

黄表紙四十種の一。印記・藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本。

大通天王（外）三卷

和中

913
ト76
1

〔朋誠堂〕喜三三撰 「北尾重政」画 「天明三年（一七八四）刊、明治三七年（一九〇四）」印（大阪・鹿田静七）
黄表紙四十種の一。初め「〔大通天王野暮親王〕誤歟大和功」と題す。印記・藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本。

文武二道萬石通（外）三卷

和中

913
ト77
1

〔朋誠堂〕喜三三撰 「喜多川」行磨画 「天明八年（一七八八）刊、明治三七年（一九〇四）」印（大阪・鹿田静七）

黄表紙四十種の一。天明八年中に三版あり、鹿田印本は初版と三版の板木を混用したもの（『黄表紙総覧』）。印記・

藤山白金文庫 * 藤山工業図書館移管本。

〔冠言葉七ツ目〕（外）三卷

和中

913
ト78
1

唐來參和撰 「喜多川」歌磨画 「寛政元年（一七八九）刊、明治三七年（一九〇四）」印（大阪・鹿田静七）

黄表紙四十種の一。初め「冠言葉七目〔十二支〕記」〔〔十二支〕の部分、偏が「支」、旁が「十二」の合成文字〕と題す。 * 藤山工業図書館移管本。

かねのなる木（外）三卷

和中

913
ト79
1

唐来參和撰 「喜多川歌麿」(千代女)画 「天明五年(一七八五)刊、明治三七年(一九〇四)」印(大阪・鹿田静七)
黄表紙四十種の一。初め「(順廻能名代家)」莫切自根金生木」と題す。*藤山工業図書館移管本。

がんとり帳(外)三卷

和中

奈藤野馬乎人(志水燕十)撰 「喜多川」歌麿画 「天明三年(一七八三)刊、明治二七年(一九〇四)」印(大阪・鹿田静七)

黄表紙四十種の一。初め「(右通鑑而)」と題す。印記・藤山白金文庫 *藤山工業図書館移管本。
竈將軍勘略之卷(外)三卷

和中

時太郎可候(葛飾北斎)撰画 「寛政二年(一八〇〇)刊、明治三七年(一九〇四)」印(大阪・鹿田静七)
黄表紙四十種の一。印記・藤山白金文庫 *藤山工業図書館移管本。

前戯錄

和中

明和七年(一七七〇)三月刊「近代」印(京都・佐々貴惣四郎)

913
ト142
1

河玄佑撰
裏表紙見返に朱印「竹苞樓製本記」あり。

和半

092
ト142
1

〔枕草子〕

清少納言撰

〔江戸前期〕写(一筆)

和半

092
ト142
1

能因本(慶安二年刊本の写しか)。列帖装、金欄表紙、本文鳥の子金泥下絵料紙、見返濃彩草木絵、外題「清少納言」。
二重塗箱入、外箱蓋中央に「清少納言枕双□」手前に「普通品/乙/二三二」貼紙あり。

〔圓珠庵〕雑記

和半

B1
ト197
1

913
ト81
1

积契冲撰 寛政三年（一七九二）一二月写、同七年四月校合（石川雅望）

転写「大田」南畠藏本（宝曆八年〔賀茂〕真淵頭注を含む）、岩波書店版契冲全集第十四巻に書影あり。印記..
石氏家藏、蛾術齋藏書（以上石川雅望）、鐸木家藏、厭谷文庫、寃圖書印（回文印）、青谿書屋、大島氏圖書（以上二顆大島雅太郎）、不求甚解、月明莊（反町茂雄）*久保田淳氏寄贈

同

〔积契冲〕撰 〔江戸中期〕写（一筆）

頭注なし、外題「雜記」右肩に追筆「圓珠庵」。印記..圓滿院門室院、圓滿院法藏 *久保田淳氏寄贈

駿臺雜話五巻存巻一

和大

914
ト13
1

室鳩巢撰

〔江戸中期〕写（一筆）

刊本の写し。

和半

B1
ト184
1

履軒弊帚

〔中井〕履軒撰

〔江戸後期〕写（一筆）

末尾に續編所収「錫類記」を収む。朱句点朱引訂正（猪飼敬所）、昭和二六年（一九五二）〔三村〕竹清改装および目録付加。「北海若盲龜子默大轟叟持」識語、昭和二六年三村竹清読過識語あり。印記..竹清象、竹清、天明一讀（いづれも三村竹清）

和半

092
ト152
1

〔比古婆衣序〕

〔伴信近〕撰

弘化四年（一八五二）一一月写（自筆）

卷子本、中書本。箱は弘文荘説え、待賈古書目第四九号（昭和五二年六月）第二五八番所載。

習文軌範八卷附習文錦字集八卷共存卷一至四

和半

914
ト14
4

秋月誠一編

明治一一年（一八七八）八月版權免許（大垣・文會堂久保田鐵藏）

外題角書「假名挿入」、付録は各巻末にあり。識語・千野牛藏々書（本）、印記・甲斐巨摩郡下条南甘利庵（上部

中央、曲尺に「イ」の家印）、千野 *千野直一氏寄贈

安元御賀の記 厳島御幸の道の記 高倉天皇升遐の記

和大

915
ト6
1

（安 藤原隆房撰（嚴・高）源道親（通親）撰〔江戸後期〕写（一筆）

扶桑拾葉集からの転写か。墨人名等注記・朱（別筆か）訂・批点あり。冊末朱識語「天」（虫損のため読めず）。

印記・作樂 *久保田淳氏寄贈

鴨長明海道記

和大

915
ト5
2

闕名者撰 寛文四年（一六六四）一一月刊

刊記は日付のみ、慶長三年（一五九八）亥旨本奥書あり。識語・鴨長明海道記上下置之（天和二壬戌念二月上休

禪觀堂下□□照誌、印記・元照之印、普門 *久保田淳氏寄贈

西遊旅譚五卷欠卷五

和大

915
ト7
4

司馬江漢撰并画（寛政六年（一七九四）五月序刊、享和三年（一八〇三）八月修）後印（大坂・文金書堂）（河

内屋太助）

無刊記（寛政六年序）本に享和三年七月（浦上）春琴序を増補した江戸・鴨伊兵衛修本の後印。卷一裏見返に「西

京上京第三拾壹區木屋町三条上ル大口（木扁のみ記す）識語あり。卷一表紙に貼紙墨書「テ拾三番／五冊」印

記・木屋町三条上ル大梅、白木藏書、白木健二郎、三 * 藤山工業図書館移管本

瓊瑤集附狗尾集井蛙錄

和大

916
ト1
1

南一郎編并撰

昭和三三年（一九五八）刊（高松・南一郎）

鉛印。 * 堀晶子氏寄贈前田幹照旧藏書

和大

092
ト150
1

〔松崎慊堂書簡〕

〔松崎慊堂〕（明復）撰

〔天保一〇年（一八三九）〕写（自筆）

〔天保一〇年五月〕二七日付、金花主人（〔金華堂須原屋助〕）宛、穀梁傳板下出来のことにつれていて「慊堂日録」

同日の記事と合致する。

和大

戸原129
1

〔戸原卯橘書簡〕

〔戸原〕卯橘撰

〔文久三年（一八六三）八月写（自筆）〕

軸装、〔文久三年〕八月二二日付、俊軒（弟の戸原東作）宛、脱藩の意思を告げる。

* 平成一六年春戸原純一氏表装、

同氏寄贈

和中

戸原132
1

〔海賀宮門・戸原卯橘書簡〕

海賀宮門・戸原卯橘撰

〔幕末〕写（各自筆）

卷子本、〔海〕某年二月二〇日付、豊後府内藩士小野重兵衛等四名宛、〔戸〕某年五月一四日付、佐賀藩士牟田口
節左衛門宛。 * 戸原純一氏寄贈

〔安井息軒書簡〕

〔安井息軒〕撰

〔慶応二年（一八六六）・明治四年（一八七一）〕写（自筆）

〔慶応二年〕一〇月八日付（『管子纂詁校讎』献上のこととに言及）および〔明治四年〕正月二日付（追伸で正月四日の広沢真臣暗殺のこととに言及）、ともに長女「お寿満」宛。

〔安井息軒・金子与三郎書簡〕

和中

安井〔息軒〕（衡）・金子与三郎撰〔幕末〕写（各自筆）

卷子本、外題「安井息軒金子得處尺牘合卷」、息軒書簡は〔安政六年（一八五九）〕一二月八日付、金子〔与三郎〕宛、文中この年六月の大沽砲台の戦い（清がイギリス軍艦を砲撃したもの）に言及する。金子（一八二三一六七）書簡は某年八月一〇日付、仙台藩士一条十郎宛、文中横井平四郎（小楠）との会談予定に言及する。古い謄え箱手前側面に薄紅円形ラベル朱書「志二六三」。

〔山下棟溪漢詩講義録〕附檢韻 唐宋詩語玉屑

和A5・B5

山下棟溪講 前田幹照錄 昭和二九年（一九五四）至三六年写（前田幹照）

ノートブックにペン・鉛筆にて書写。 *堀晶子氏寄贈前田幹照旧蔵書

増補國華集（目）二卷

和半

闕名者編〔毛利貞扇〕補 寛文九年（一六九九）九月刊（〔京〕度々市兵衛）

増補者名は書籍目録による。印記・佐野彦間小峯（黒陽刻円印）

明詩礎二卷

和小

D2
ト128
1

919
ト332
2

919
ト326
16

092
ト153
1

092
ト149
2

田雲峰（重卿）・（勝田）五嶽（原良延）編

元文四年（一七三九）二月刊（京・額田庄三郎、田原勘兵衛）

「一止人藏版目録」（額田氏伊勢屋正三郎）を付す。

詩學咏物捷徑二卷 詩工椎鑿一二卷

和小

D2
ト129
1

（咏）大江玄圃閑 藤正瑤・古元璫編、（椎）岡崎盧門閑 岡崎〔鵠亭〕（元軌）編

（咏）天明四年（一七八四）序刊、（椎）天明五年（一七八五）刊、寛政二年（一七九〇）印

（咏）京・文林軒〔田原勘兵衛〕、錦山堂〔植村藤右衛門〕、文錦堂〔林伊兵衛〕、（椎）京・林伊兵衛、淺井庄右衛門、植村藤右衛門

二種（ともに原二冊）を合綴。（咏）版元は見返による。見返題「咏物三種／捷徑／入門／攀桂」である。（椎）

取り合わせ本。印記・（咏）（不明朱陽刻方印を朱塗抹）、（椎原下冊）河野圖書、光（？）忠

詩語碎金續編二卷

和半

919
ト343
1

國枝〔松宇〕（惟熙）編 熊田惟孝校〔文政三年（一八二〇）一一月〕刊、天保二年（一八三二）以降印（大坂・

河内屋茂兵衛）

外題「續詩語碎金」、見返「平安書肆 文錦堂／錦山堂／高鱗堂」梓行、冊末河内屋茂兵衛広告中に天保二年六月発兌と記すものあり。朱書入、疲れあり。印記・高松軒圖書記 *千野直一氏寄贈

和半

919
ト343
1

幼學詩韻續編附時令提要

和半

919
ト343
1

（渡辺）衡園閑・（附）撰 林龜（士謙）・大前彬（仲文）編 天保五年（一八三四）正月刊（江戸・千鍾房須原屋茂兵衛・青藜閣須原屋伊八等四肆）

外題・見返題「幼學詩韻續」、見返に「北田氏千鍾房正本記」印記あり。印記・高松軒圖書記 *千野直一氏寄贈

詩礎階梯二卷

和小

D2
ト119
4

三國〔幽眠〕（鷹巢、準）編 上田慎錄 児玉徳・山田恭校 天保一五年（弘化元年＝一八四四）正月序刊、〔幕末〕印（大坂・寶玉堂〔河内屋貞七〕）

各卷二冊、第三冊裏表紙破損、識語・秋潭藏書、印記・千野 *千野直一氏寄贈

詩韻碎金幼學便覽二卷

和横小

D2
ト120
1

伊藤〔鳳山〕（馨）編 弘化二年（一八四五）春刊（京）中尾弘文堂近江屋佐太郎等八肆、學半樓藏版

見返に「詩韻碎金幼學詩韻合刻速覽」とある通り、先行二書を上下に並べ合刻したもの。印記・鈴木

詩語對句自在五卷

和横（大本三つ切）

D2
ト121
5

〔内山牧山〕（藤良國）編 〔嘉永五年（一八五二）〕刊〔幕末〕印（大坂・河内屋佐助、同喜兵衛）

印記・千野 *千野直一氏寄贈

和小

D2
ト122
1

〔明治新選〕詩語碎金二卷存卷上

堤〔新甫〕（大介）編 〔明治二年（一八七八）八月版權免許〕刊（大阪・前川善兵衛）

銅版（見返・序は木版）。識語・秋潭藏書、印記・千野 *千野直一氏寄贈

〔明治新選〕續詩語碎金二卷

和小

D2
ト123
2

堤〔新甫〕（大介）編 明治二年（一八七八）八月版權免許 刊（大阪・前川善兵衛）

銅版（見返・序は木版）、奥付の編者名は「堤大助」。識語・秋潭」、印記・千野 *千野直一氏寄贈

王澤不渴鈔二卷

〔釋良季〕撰

〔寛永〕刊

和大

919
ト334
2

原題簽外題「王澤」、寛永一〇年（一六三三）一二月の刊記がある抄物と一具の大坂女子大藏本は本書の覆刻か（同書上一オ四「成」に「キス」と誤ルビあり）。

菅家文草一二卷

和大

〔菅原道真〕撰 福春洞（慮庵）校 寛文七年（一六六七）六月跋刊（京..野田某）

初印か。刊行者は校者跋文中にあり。印記・鳥越池田家藏

東海一漚集五卷

和大

糸中巖圓月撰 釋桂洲道倫校点 明和元年（一七六四）一一月跋刊（京..小川源兵衛、大藏院藏版）

原題簽外題「中巖和尚」東海一漚集「朱句点批点朱引、墨詳密注記（高峰東唆『東海一漚集事苑補』からの摘記）か

東海璣華集（外）

和大

〔糸中巖得巖〕撰 第一冊〔江戸中期〕写（一筆）、第二冊正徳元年（一七一二）五月刊（常信）

第一冊内題「東海璣花集」五言七言律詩類聚本、朱句点青抹消符墨訂正書入、第二冊木活字版（常信版）二冊合一冊、内題「東海瓊華集」、部分的に朱句点・朱引。印記・神田家藏、香巖、神田醇印（神田香巖）

詠象詩附補遺

和半

〔奥田三角（士亨）〕編 享保一四年（一七二九）刊（京・二酉齋）

和大

享保壬子御宴曲水詩歌

B1
ト174
1

919
ト331
1

091
ト390
2

B1
ト183
4

919
ト328
12

闕名著編

〔江戸中期〕写（一筆）

〔篠崎東海〕跋、文化八年（一八一二）八月大田南畝取得識語、山崎美成・国分剛二旧藏。*阿部隆一氏寄贈

南海先生文集五卷

和大

祇〔園〕南海撰 田中嶋嶌（由恭）編 葛子琴校 天明四年（一七八四）三月刊、寛政七年（一七九）九月印（大坂）柳原喜兵衛等二都三肆）

外題「南海先生集（初編）」。印記・榮郭齋藏

巢雀亭序 至日賀蕃滋主人病新愈〔詩〕

和大

富〔田〕日岳（大鳳）撰 〔江戸中期〕写（自筆）

巻子本、序は天明五年（一七八五）成、楷書体、詩は『日岳先生文集』巻五所収、草書体。

栗山堂詩藁不分巻

和半

〔柴野〕栗山撰 〔江戸後期〕写（二筆）

題簽に上中下の朱書あるも、国会図書館蔵四巻本（詩集日本漢詩七所収）と比較すると、中冊・巻一至三途中、上冊・巻二途中至末、三・四の一部、下冊・巻二末至巻三途中となつていて、所収作品にはお互いに出入りあり。下冊末近くに「文化八辛未三月仁尾詩會」あり、杏坪・石梁・五山・詩仏・寛斎・仁尾蓮華・渡邊象山・井岡櫻山の詩を收める。朱句点、朱墨訂正あり。下冊末に旧藏者による尾藤二洲贊・栗山書の「仲景贊」（三木義庵所蔵）を記す。

伏龍謡十二首并叙

和特大

戸原
127
1

B1
ト199
3

092
ト157
2

919
ト333
5

原古處撰

文政七年（一八二四）五月写（自筆）

軸装大幅、龍光公（黒田如水）を詠んだもの。 *戸原純一氏寄贈

〔原采蘋書龜井少栄書画合幅〕

和特大

〔原采蘋〕撰 龜井少栄撰并画 〔江戸後期〕写（各自筆）

軸装、上に采蘋「次韵 戸原五郎君」、下に少栄自贊蘭因扇面を貼り込む。玉製風鎮一対を付す。

*戸原純一

氏寄贈

山陽文稿二卷存卷上

和中

賴山陽撰 明治三年（一八七〇）刊（京都・田中治兵衛等六肆）

薄茶色料紙。印記：千野直一藏書之章 *千野直一氏寄贈

論畫詩 繼論畫詩

和大綻長

〔浦上〕春琴撰 小西松塙注 〔明治〕刊

石版か。續本文四・五張活版。續末に天保一四年一一月原刊記存。

〔北條霞亭詩文稿〕

和半

北條霞亭（譲）撰

〔江戸後期〕写（自筆、一部他筆）

紙綻綴、第一冊は七冊、第二冊は三冊を合冊。印記：北條复印（第一冊中第五冊、第二冊中第九・一二冊首）

息軒先生文集（外）不分卷

和半

〔安井〕息軒撰 木下〔犀潭〕（業弘）批 〔幕末明治〕写（一筆）

919
ト329
1

091
ト397
2

919
ト339
2

919
ト340
1

戸原
128
1

朱批点も含め忠実に転写したもの、文久元年（一八六一）五月批者跋あり。紙縫綴、「斑竹山房」名入り左右双辺有界一〇行罫紙使用。

息軒先生文集（外）不分卷

919
ト330
3

和半

〔安井〕息軒撰 塩谷〔宕陰〕〔世弘〕批 〔幕末明治〕写（寄合書）

宕陰批は一部のみ、文久元年（一八六一）四月木下〔犀潭〕〔業広〕跋あり（批点なし）。紙縫綴（背覆紙あり）

朱句点校語書入、「四本之内高橋藏本」識語あり。

大統歌二卷

919
ト341
1

和半

〔塩谷宕陰〕撰

〔幕末〕刊

末尾「一統之治維萬維億」まで。「統」欠筆せず。朱引、墨汚れあり。*千野直一氏寄贈

和半

919
ト338
2

大統歌俗解二卷

鹽谷〔宕陰〕〔世弘〕撰 井上不鳴注 明治五年（一八七二）二月刊（京都・松井榮助、北村四郎兵衛、徳島・天満屋武兵衛、臥游齋井上不鳴藏版）

書名「統」は欠筆（孝明天皇の諱統仁を避けるため最終画を欠く）。*千野直一氏寄贈

和特大

919
ト330
1

〔芳野金陵七言絶句幅〕

芳野金陵撰
〔幕末明治〕写（自筆）

919
ト330
1

軸装、詩「微雨蕭疎帰臥亭、五更夢覺氣惺々、朝來使（？）喚家僮問、塘草今添幾許春」落款「金陵老人芳野育」
*戸原純一氏寄贈、斯道文庫にて軸装

韶齋遺稿二卷

和半

小島韶齋（爲政）撰 小島守政編 〔小島〕誠・〔小島〕孝校 大正二年（一九一三）三月刊（東京・小島守政）

石版か（印刷者都築吉五郎、印刷所成進堂印刷所）。卷下末「先考修徳君行述」（小島守政）を付す。書袋あり。

蘇元存稿二卷

和半綫長

桐島蘇元（像一）撰 伏島孔次編 大正一五年（一九二六）七月刊（東京・伏島孔次）

活版、「題跋目次」別紙挿入、原帙入。

赤霞山人遺稿

和小

菅野銀八撰 渡邊金造編 昭和二〇年（一九四五）三月刊（渡邊金造）

活版、油印正誤表を付す。 *阿部隆一氏寄贈

竹深居詩存後篇

和大

山下棟溪（虎）撰 昭和二五年（一九五〇）刊（高松・筑前屋老舗杉山利一）

油印、〔前田幹照〕書入。 *堀晶子氏寄贈前田幹照旧蔵書

竹深居詩存第三編

和大

山下棟溪（虎）撰 昭和二九年（一九五四）刊（廣島大学文学部東洋史学研究室）

油印、〔前田幹照〕書入。 *堀晶子氏寄贈前田幹照旧蔵書

〔詩稿〕

和大

〔名取和作〕撰

〔昭和〕写（自筆）

919
ト342
1

919
ト325
1

919
ト324
1

919
ト327
1

919
ト336
2

〔自作〕五首および先人の作五首を記す。昭和二三年七月三日消印撰者宛松永耳庵（安左衛門）葉書を挿入。榛原製蜀紙を使用。

駢儻（扉）

闕名者編

〔江戸初期〕写（一筆）

和半

091
ト386
1

山林風月集三巻

和大

091
ト388
2

室町中期以降の五山僧の啓劄集成、横川景三「蘿蔔集」の啓劄を含む。末尾は慶長二年（一六〇六）の作。句分かち書き、朱引・朱批点。印記：海臨（朱陽双辺方）

禪家雜詩（外）

闕名者編

〔江戸前中期〕写（寄合書）

和大

B1
ト187
10

禪宗關係詩文雜纂。四六文作法（虎闕・江西・策彦）、『滑稽詩文』所収作品、野馬臺、武城絃歌集序等を含む。

元禄一六年鉄帚宗州（妙心寺二七〇世）作詩歌が最新か。原本文共紙表紙紙縫綴に後補表紙を付す。*藤山工業図書館移管本

〔若溪〕漁隱叢話前集六〇巻後集四〇巻欠後集卷十至十七

和大綻長

B1
ト187
10

〔宋〕胡仔撰

〔江戸初期〕写（寄合書）

五つ目綴、一三行一二至二三字、朱句点朱引批点（わずかに返点送假名）、緑句点注記。印記：白雲書庫（野間三竹）、

松井臧書、螢雪軒珍臧（近藤南洲）

陶靖節集四卷首一卷

和大

921
ト284
4

晋陶淵明撰 菊池〔耕齋〕（東匂）校点 〔明暦三年（一六五七）二月〕刊 寛文四年（一六六四）八月印（京）
武村市兵衛（）

天啓二年（一六一三）浙江楊氏刊本の覆刻。識語：宮内定彦、印記：宮本五朔圖書、多稽書屋圖書之印、（蛙の図）
杜律集解七五言鈔（扉）一九卷首一卷欠五言鈔二二卷（卷八至十九）和大
921
ト284
8

万治二年（一六五九）一一月刊（京・西田爾弓齋加兵衛）

五つ目綴、扉および卷七末に刊記あり。天明元年（一七八一）徳永氏の所持識語あり。

須溪先生評點簡齋先生詩集一五卷

和大綻長

921
ト279
5

宋陳〔與義〕（簡齋）撰 劉辰翁評 闕名者点 〔江戸前期〕刊

嘉靖二三年（一五四四）柳希春跋刊 朝鮮本の翻刻、五つ目綴。印記：胡家藏書（多湖家）

新芳薩天錫雜詩妙選藁全集附後跋文疏

和半

921
ト277
1

元薩〔都刺〕（天錫）撰 闕名者点 〔明暦三年（一六五七）八月〕刊、元禄七年（一六九四）八月印（大坂・油

屋・兵衛）

覆五山版。

吳詩集覽二〇卷首一卷 吳詩補註二〇卷 吳詩談數二卷

唐半

921
ト285
16

清吳偉業撰 靳熒藩編 〔清〕刊（凌雲亭藏版）

朱句点・批点あり。印記・碧堂圖書

香草齋詩註六卷存卷三至五

唐半

清黃任撰 陳應魁注 〔嘉慶一九年（一八一四）〕刊（永陽慾窩藏板（永福・陳應魁））

米沢図書館本と同版。朱句点・批点あり。破損あり。印記・交軒、刀水書屋（渡辺刀水）

嚴東有詩集一〇卷存歸求草堂詩集六卷

唐大縱長

清嚴長明撰 葉德輝編校 民国一年（一九一二）刊（長沙）・園葉德輝

秋山紀行集二卷、金闕攀松集一卷、玉井攀蓮集一卷を欠く。

和大

文選正文一二卷首一卷

921
ト288
13

梁蕭統編 〔服部〕南郭句讀 〔片山〕兼山点 〔松下葵岡〕（葛山壽）・久保筑水校 文政一年（一八二八）刊（京）

風月庄左衛門

921
ト293
1

天明四年（一七八四）刊本に久保筑水の重校を加え覆刻したものの、各冊楮紙覆表紙、小口柿渋塗布、識語・源正度、甲州巨摩郡千埜氏、嘉永元年申年臘月求之 高松軒、（同）冬求同酉年正月二日上包致ス、（前略）千野新次郎、印記・高松軒圖書記、甲斐國巨摩武川甘利真葛高森軒（黒陽刻円印） *千野直一氏寄贈

六家文選〔六〇卷〕存卷十二至十五

唐大

梁蕭統編 唐李善・呂延濟・劉良・張銑・李周翰・呂向注 〔萬曆〕〔丁觀〕刊〔明末〕印

五臣李善注本。卷首第四行「皇明（隔一二至一三格）重刊」とのみあり、刊行者名を削除。刻工名・安二、鄭四、

B1
ト217
1

張月、江文、張九など。朱傍線、詳密な墨訓点注記書入および一張補写は、ともに「江戸初」写。

精刊唐宋千家聯珠詩格二〇卷

和大

921
ト 281
5

宋于濟・蔡正孫編 大窪詩佛（天民）校点 文化元年（一八〇四）六月刊（江戸・山崎屋清七等八肆）

見返「東都書肆 金蘭閣梓（捺印「野村印記」）」とあり。印記・待月堂藏書記（第一冊のみ不明印記に重捺）

同

和半

921
ト 282
5

同 文化元年（一八〇四）六月刊、〔明治〕印（東京・和泉屋金右衛門等一二肆）

印記・大間手賛藏書（擦消）、須貝

點註正文章軌範七卷續〔七〕卷存正卷一至四

和中

921
ト 282
2

（正）宋謝枋得編 明李廷機評、（續）明鄒守益輯〔焦竑評 李廷機注〕、（正續）宮脇南溪補 明治一〇年（一八七七）刊（東京・山中〔市兵衛〕）

刊年は見返による。朱墨注記・貼紙多し。印記・高松軒圖書記、千野 * 千野直一氏寄贈

增評文章軌範七卷續〔七〕卷存正卷一至二

和中

921
ト 296
1

（正）宋謝枋得編 明李廷機評、（續）明鄒守益輯〔焦竑評 李廷機注〕、大竹政正纂評 明治一〇年（一八七七）

一〇月刊（〔東京〕名山閣）

印記・松葉

文章軌範文法明辨〔二〕卷存卷一至四

和中

921
ト 287
4

宋謝枋得原編 森田節齋撰 岡三慶編（卷一至二）加藤泰次郎・（卷三至四）伊藤鉢次郎校（卷一至二）

明治九

年（一八七六）八月、（卷三至四）同一〇年一二月刊（東京・晚成堂岡三慶、豊文堂武藏屋堀口惣五郎

卷一・三に見返、卷二・四に「岡氏検章」（実捺印）および奥付あり。卷二末「豊文堂藏板目次」、卷四末に卷一・

二正誤表を付す。印記・高松軒圖書記 *千野直一氏寄贈

古文〔眞寶講義〕後集〔之部〕存九号

松平錦水撰

和中

明治一六年（一八八三）三月版權免許（東京・中外堂柳河梅次郎）

扉欠。内容は卷一第一五張至二九張。

〈點註〉唐宋八家文讀本三〇卷

和半

清沈德潛編 川上廣樹編点 明治一六年（一八七八）七月版權免許 刊（甲府・内藤伝右衛門、東京・山中市兵衛）

各冊末「製本師水島宗八」朱印あり、水損あり。印記・千野直一藏書之章、千野 *千野直一氏寄贈

春窓聯偶巧對便蒙類編二卷

和大縱長

明曾梅軒編 闕名者点 寛永一三年（一六三六）一一月刊（京・田原仁左衛門）

外題「便蒙類編」、拋嘉靖二年（一五四二）一〇月張氏新賢書堂刊本、五つ目綴。

天下才子必讀書（目）一五卷末一卷存卷一至七・十一至十三

唐大縱長

〔清金〕聖嘆評 〔民国〕刊（有正書局）

鉛印、朱句点批点あり。印記・丕元、亞畊所臧、袁丕元、亞耕長壽、亞耕讀過

唐詩選七卷

題明李攀龍編 〔服部南郭〕校点弘化三年（一八四六）正月刊（江戸・嵩山房須原屋新兵衛等六肆）

921
ト297
3

921
ト291
4

921
ト283
2

921
ト295
1

見返に「新板」、「四聲並假名附」、刊記に「寶曆戊寅年初夏元板」とあり。識語・田村氏藏書、印記・寛而栗、花房、
花房鎧太、壽山、田村

同

欠卷一至三

和小

921
ト 298
2

題明李攀龍編 〔服部南郭〕校点 天明五年（一七八五）四月刊（江戸・嵩山房小林新兵衛）
刊記に「寶曆戊寅初夏」ともあり。四声・仮名附。識語・寛政七乙亥歳正月吉祥日、印記・花房藏書

同

存卷一至三

和小

921
ト 299
1

題明李攀龍編 〔服部南郭〕校点〔江戸後期〕刊（江戸・嵩山房〔小林新兵衛〕）
見返に「新板」、「四聲並假名附」とあり。表紙欠。不明黒陽刻円印記あり。

同

欠卷五首・卷七

和小

D2
ト 127
1

題明李攀龍編 〔服部〕南郭校点 文化四年（一八〇七）刊（江戸）嵩山房

原三冊合冊か。識語・愛薰（？）堂

和半

921
ト 290
1

唐詩選畫本（外）存第二編卷三

〔高田円乗〕画〔寛政三年（一七九一）五月〕刊（江戸）嵩山房〔小林新兵衛〕

浅葱色唐草艶出表紙、早印。表裏見返墨書「文化十四年丑九月吉日御代田村命楚内関根与平次」（吉から内まで
胡粉塗抹、現在の福島県郡山市田村町）「立花出雲守内関根氏」（別筆）。

古文快筆貫通解三卷欠卷下

唐半縦長

921
ト 292
2

清杭永年編 陸費錫監 吳自道校 〔清〕刊（經元堂藏版）

他に四巻本あり（四庫禁燬書叢刊集部三四所収）。

宋十五家詩選 五巻存卷七・十一・十二・十五

和大

清陳訂編

〔文政一〇年（一八二七）〕刊（昌平坂学問所）

官板。存巻は順に黃廷（ママ）堅、楊萬里、王十朋、方岳。

卷七朱批点評、同筆識語「戊戌十一月十日夜雨東軒

小釭下讀」、印記・太白山房（巻七のみ）、盜泉清翫（全冊）

錦繡段抄

和大

〔釈繼天寿戯〕撰

〔江戸前期〕写（一筆）

仮名抄、朱句点批点朱引、墨返天送仮名堅点。永禄三年（一五六〇）・元和九年（一六二三）本奥書あり。印記・

小汀氏臧書、をばま（小汀利得）

新刊錦繡段

和大

〔江戸初期〕刊

釈天隱龍澤編
覆古活字版。

〔翻刻〕絶句類選評本（外）二二巻存卷十三至二十一

和特小

D2
ト125
2

津阪〔東陽〕（孝綽）編 齋藤拙堂評〔津阪拙脩〕（達）・平松〔樂扇〕（正慤）校

明治一五年（一八八二）二月刊（大

阪・豊住幾之助）

銅版、全五冊。

浙西六家詩鈔六巻欠巻一

和大

921
ト300
2

091
ト393
1

921
ト289
4

賴〔山陽〕（襄）編評 後藤松陰（機）校点 嘉永二年（一八四九）刊（江戸・須原屋茂兵衛等七肆）

* 藤山工業図書館移管本

開元天寶遺事二卷

和大

923
ト9
1

五代王仁裕撰 閣名者点

寛永一六年（一六三九）八月刊（京・田原仁左衛門）

朱茶墨書入、識語・主嶺、明治三十八年十二月三十日大阪鹿田書林ヨリ購入、印記・定福（梅小路定福力）、姉

小路府（姉小路家）

新鐫時用通式翰墨全書一二卷

和大

926
ト11
1

明王宇編 陳瑞錫注 閣名者点 寛永二〇年（一六四三）正月刊（京・田原仁左衛門）

原五冊合二冊。印記・温古堂、長嶋山藏書、望月藏禁門外

近世名人尺牘教本□卷存卷一

唐中

926
ト10
1

清顧新亞編

光緒三十三年（一九〇七）六月刊（上海・科學書局等）

石印。末尾広告では「毎部四冊」とする。印記・赤羽雋印 * 昭和四年五月二八日赤羽元吉氏寄贈（図書館より移管）